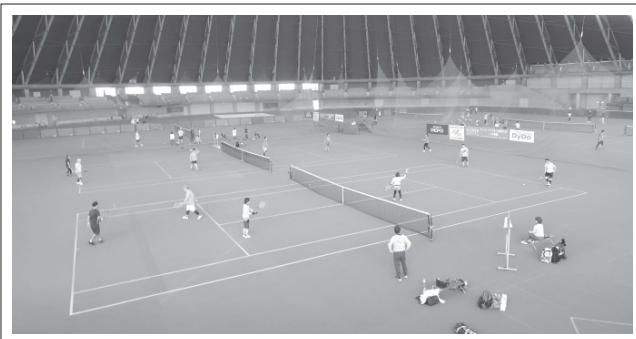


TIA News! Vol. 103

2025.6



Contents

■会長挨拶：活動方針……………	2	■マネージャー部会報告……………	22
■第33回定時総会報告……………	3	■コーチ部会報告……………	23
■2025年度事業計画……………	4	■フロント部会報告……………	24
■テニスプロデューサー紹介……………	9	■東京都テニス事業協会活動報告……………	25
■安全委員会通信 Vol.54……………	10	■アメリカテニス業界情報……………	26
■安全・危機管理セミナー開催報告……………	12	■スジガネ君、テニスを語る……………	28
■『テニスの日』新たなスタートに向けた声明文……………	13	■人事・労務コラム……………	29
■有明の森テニスフェスタ2025開催報告……………	14	■税制コラム……………	32
■第5回テニス・トリプルス全国大会 in 北海道開催報告……………	16	■庭球人語「アインシュタインの授業」……………	34
■クラブ部会・後継者の会報告……………	19	■賛助会員名簿……………	35
■スクール部会報告……………	21	■編集後記……………	36



会長 大久保 清一

より人々の意識の中に地球の将来の有るべき姿を描いてゆく事が必要なのではないかと思います。

スポーツ界では多くの種目が大変盛り上がりを見せており、特にメジャーリーグでの大谷選手の大活躍に始まりパリオリンピックでのやり投げの北口榛花選手の金メダルほか、多くの日本人選手が大活躍しました。パラリンピックのテニス競技においても上地結衣、小田凱人両選手の金メダル獲得と日本中が大いに盛り上がった一年でありました。またデ杯・BJK杯では男女共にファイナル予選に進出し大きく前進しております。年初のAO（全豪オープン）ではジュニア部門女子シングルスで当協会会員クラブ所属の園部八奏選手が初優勝し、今後の活躍が大いに期待されます。

今後日本の人口減と少子化がますます進む中で、競合する数多くのスポーツ競技の中でテニスにより関心を向けていただき、参加していただくための努力がさらに望まれます。テニス人口が減少していく中、幼少期からスポーツに親しみ・楽しむ事で将来に亘り子供たちの健全な発育、成長が望まれますので、テニスの普及と共に事業としてのテニスの永続発展にも重要な課題として子供たちへの取り組みを事業者一丸となって取り組んでまいります。

本協会の基本的な活動方針にテニスの普及があります。子供たちがテニスを始めたきっかけに、ご家族がテニスに親しんでいたこと、どこで始めたか？では、クラブ・スクール等の民間のテニス施設が80%と圧倒的に多い、とのデータもあり一般市民の方々に一番近いところで普及活動に携わっているのは我々テニス事業者であります。この事を念頭に今後も我々テニス事業者が日本のテニス界を牽引してまいります。

また、シングルス、ダブルスでは体力的に厳しいと感じている人、過去テニス経験者で気軽にカムバックした

い人、テニスを始めて間もない人（初心者・初級者）、テニスの新しい楽しみ方を求めている人、シングルス・ダブルス以外の頭脳的戦術を楽しみたい人等を対象に、テニスを始めやすく、より楽しく、いつまでも続ける方法として、シングルス、ダブルスの他に、新たな種目トリプルス（3人対3人）を導入・普及することでテニス事業の幅を広げ（健全な発展を図り）、国民の健康増進（生活の向上）に寄与することを目的に「テニス・トリプルス」を全国大会の開催と共に普及推進してまいります。

次に重要施策として人材育成があります。昨年度は年間を通じて集合を基本としつつネットも併用しての活動をし、より多くの方の参加を頂き有意義に研修、勉強会を終了しました。今年度も経営者、マネージャー、コーチ、フロントの各部会共通で年間を通し個々のレベルアップとそれにつながる事業の成長を目指し講座を開講します。また、委員会につきましても、年間を通して計画的に活動を継続してまいります。このような活動によってテニス事業に従事する方々の資質がより向上することにより、業界の発展に繋げてまいります。それに伴い、当然の事として業界を挙げての待遇改善にも積極的に取り組んでまいります。

そして、この個々の能力開発を目的とした人材育成の中で、テニスプロデューサー資格制度においては各事業者の標準資格制度として活用していただき、業界全体のレベルアップに繋がるものとして講師陣のさらなる充実等により、より実りあるものとしてまいります。

テニス事業はサービス産業であり、健康産業であります。世界の多くの研究機関で発表されております「テニスと健康」と言う大きなテーマは世界中の人々に認知され、数あるスポーツの中でテニスが精神的にも肉体的にも一番であると思いますが、今後より多くの方々に理解していただき一般市民の皆様の健康をテニスで支え続けることを継続してまいります。

なお、10年15年先のテニス事業の将来は明るい見通しばかりではありません。どのような事業環境となるかを多くの方々と様々な角度から研究、検討を加え、テニス事業の継続的発展を図る事がテニス事業協会の役割、使命と認識し皆様と共に将来へと繋げてまいります。

以上の点を踏まえ、より成長への基礎作りとなるべく、委員会・部会を中心に各事業へ積極的に取り組み、サービス産業・健康産業としての位置づけを自覚し、業界のレベルアップと事業者を始め従事する方々を含めた関係者の社会的地位向上を目指し、本協会役員を中心に全会員一致団結の上、各種事業に取り組んでいく所存であります。

第33回定時総会ご報告

2025年6月17日(火)東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷6階「霧島」の間において、公益社団法人日本テニス事業協会「第33回定時総会」が予定通り開催されました。

2025年度期首204名の会員のうち、123名（委任状出席を含む）が出席し、滞りなく予定された議案の審議を終了いたしました。

総会は、吉田好彦常務理事の司会進行により、午後2時30分に増井範男副会長の開会の辞、その後、定款に基づき大久保清一会長が議長となり挨拶、議事録署名人の選出の後、議案の審議に入りました。

第1号議案の2024年度決算報告書（案）承認【矢沢直樹監事の監査報告を含む】の件は加藤潤事務局長より、第2号議案の入会金・会費規程改定（案）承認の件及び

第17期役員選任の件は議長より上程され、それぞれ異議なく可決承認されました。

以上のように予定された議案をそれぞれ採択し、大西雅之副会長が午後3時40分に閉会を宣し終了いたしました。

総会に引き続き、特別講演として公益財団法人日本テニス協会 満岡 英生氏に「ポケモンプロジェクトの紹介」についてご講演をいただきました。

定時総会終了後、引き続き別室にて行われた「懇親パーティ」には、多数の関係者のご出席をいただき、和やかな雰囲気の中、無事進行いたしました。

「第33回定時総会」に関わる事項につきましては議事録をご参照いただき、ご不明の点は役員もしくは事務局までお問い合わせください。



2025年度 事業計画書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

1. テニス事業に関する調査及び研究（定款第4条第1号関係）

テニス事業者を代表する団体として、テニス市場に関する情報集約を推進して、全国のテニス事業者や事業所の基礎資料の作成のほか、会員事業所におけるデータ管理等を通じて、客観的かつ信頼性の高い情報の蓄積を図り、国民に身近なスポーツであるテニスの事業運営に関する情報を広く社会へと発信いたします。

ア. テニス事業に関わるデータ管理業務の充実・強化【総務委員会】

テニス事業の動向変化等を詳細に把握し、テニス事業の将来の事業展開への参考や新規参入検討企業、大学等研究機関、メディアなど外部からの問合せにも対応することを目的に、全国のテニス事業に係わる種々の実態把握を行います。

なお、集計データは広報紙やホームページなどを通じて施設利用者を含め広く公開をいたします。

イ. 環境問題への取り組みに関する調査及び研究【総務委員会】

人々の健康と密接な関係にあるスポーツ事業者として、地球環境の保全に向けた各種活動には積極的に参画して参ります。「Fun to Share」への具体的取り組みとして以下の項目について調査及び研究を行います。

①「砂入り人工芝のリサイクル」

使い古された砂入り人工芝コートは、従来産業廃棄物として埋め立て処分となり、1面あたり約16トンが埋め立て処理され、産業廃棄物の最終処分場については全国的に数年で満杯になると予想されております。今後も増加傾向にある砂入り人工芝コート処分については環境保全という視点から我々はこの問題に真剣に取り組めます。本協会といたしましては、砂入り人工芝コートを産業廃棄ではなく、砂と人工芝を分離して砂は砂としての再利用、人工芝はサーマルリサイクルや他目的での再利用等を行い、廃棄物を一切出さないゼロエミッションを目指した「砂入り人工芝のリサイクル事業」を推奨し、引き続き更なる研究を続けていきます。

②「テニスボールのリユース」

使い古されたテニスボールは、机やイスの脚に取り付けることにより騒音が吸収されることから、全国の小中学校などへ寄附をする「テニスボールのリユース活動」を推奨し、今後も継続していきます。

ウ. テニス事業に関わる租税及び経営に関する調査及び研究【税制委員会】

テニス事業に関わる家賃・地代（売上対比）などの租税負担の実態や売上の増減、経費の内訳比率比較など経営の現状を把握する調査と研究を年に1回アンケート方式で行います。なお、集計データは広報紙やホームページなどを通じて施設利用者を含め広く公開する予定です。

エ. 安全・危機管理に関する調査及び研究【安全委員会】

テニス施設内における現状の安全管理や事故事例等の調査を行い、事故の予防や事故後の対応についての指針を作成するとともに広報誌やホームページなどを通じ、安全および危機管理の意識向上・啓蒙を目的に各種安全管理推進ツールや安全管理通信として公開していきます。また、安全・危機管理セミナー等でも調査研究結果を発表する予定です。

オ. 広報紙「JTIA News!」の編集と発行【広報委員会】

広報紙「JTIA News!」を下記のスケジュールにて発行し、各種調査及び研究資料の公開や国民に身近なスポーツであるテニスの事業運営に関する情報を掲載するなどして活動を進めていく予定です。

- (1)「JTIA News!」VOL.103号は2025年6月に発行予定
- (2)「JTIA News!」VOL.104号は2025年9月に発行予定
- (3)「JTIA News!」VOL.105号は2026年1月に発行予定
- (4)「JTIA News!」VOL.106号は2026年3月に発行予定

カ. ホームページ・メールマガジンの運用【広報委員会】

各種調査及び研究資料の公開や国民に身近なスポーツであるテニスの事業運営に関する情報の提供を目的とし、ホームページとメールマガジンの運用を行い、情報化社会への対応を進めていきます。

2. テニス事業に関する優秀な経営者並びに管理者の養成及び資格認定（定款第4条第2号関係）

国民の健康とスポーツ振興のため、テニスビジネスに携わる者の資質と能力の向上を図るとともに国民生活の向上に寄与すべく、テニスを業とする優秀な経営者並びに管理者育成の促進と指導体制を確立いたします。

ア. テニスプロデューサー資格制度の充実【資格委員会】

テニスを業とするものの中には、労務管理に対する認

識不足や脱税行為をするなど法令を遵守しない者、安全管理体制が整わずに違法に営業行為を行う者などが後を絶たないという現状があり、国民生活の安心と安全を守るために健全なテニス事業を行うための人材を育成することを目的とし、テニス事業に関わる者が各種の専門的な知識を得て健全で適正な経営を行うことが、国民の利益に供するとの観点から、テニス事業に関わる経営者および管理者の資質と能力向上を目的に9科目（テニス基礎知識、顧客管理、安全管理、施設管理、労務管理、マーケティング、イベント・商品販売、財務管理、人材育成）のテキストを作成し、年1回の講習会・試験を実施いたします。

また、資格取得後の更なる資質と能力の向上を図るために有資格者限定の講習会や勉強会を開催いたします。

3. テニス事業に関するセミナー、研修会等の開催（定款第4条第3号関係）

テニス事業の経営者、マネージャー、コーチ、スタッフ等の、テニス事業に携わる者の資質向上と発展を図ることにより、テニスを通じて国民の心身の健全な発達を図ることを目指し、様々な内容のセミナー・研修会等を実施いたします。

ア. 日本テニス産業セミナーの開催【研修委員会】

テニス事業の事業者ならびに従事者の資質向上を図ることにより、テニスを通じて国民の心身の健全な発達を図ることを目的として、学識経験者、有識者による講演をはじめ事業者の事例紹介等により、管理運営の改善、経営基盤の安定、現状の把握と対策の検討を行う「日本テニス産業セミナー」の開催を予定しております。

イ. 経営勉強会の開催【研修委員会】

テニス事業者の資質向上と発展を目的に「TOPGUN PROJECT」の名称にて、テニス事業以外の経営者・管理者、他スポーツ関係者の講演、テニス事業者の事例紹介など、経営に資する勉強会を開催いたします。

ウ. 安全・危機管理セミナーの開催【安全委員会】

テニス事業に関わる重要な安全管理や危機管理について、リスクマネジメントや法律の専門家による講演や、具体的事例や各種ツールの紹介、心肺蘇生法やAEDの講習などの安全・危機管理セミナーを開催いたします。

エ. 部会別勉強会の開催

各部会（クラブ部会、スクール部会、マネージャー部会、コーチ部会、フロント部会）において、テニス事業関係者の職位別セミナー・研修会・勉強会を、有識者や各分野の専門家による講演や、グループワーク形式など

の手法で定期的の実施いたします。

①「後継者の会」の開催【クラブ部会】

クラブ部会では、テニスクラブビジネスを長く存続させるために、経営者の世代間交流を図ると共に、クラブ経営者の情報交換および実践学習の場を提供していきます。本年度も「クラブ後継者の会」は継続し、クラブ経営の事例研究会や交流会を開催し、全国のテニスクラブ経営者およびその後継者のネットワーク作りを目指し、情報交換会を年に2回、テニス親睦会を年に1回開催する予定であります。

②スクール経営者の勉強会・情報交換会の開催【スクール部会】

国内経済環境が厳しいと言われる状況をいかに克服して事業を発展継続させるのかを目的に、スクール経営者を対象に実情に即した意見交換や事例紹介など、種々の情報を収集し今後の事業の発展に繋がるよう「スクール経営研究会」として年4回程度開催する予定であります。

③マネージャー（事業部長・支配人等）の勉強会・情報交換会の開催【マネージャー部会】

テニス事業におけるマネージャー業務の内容について、マネージャーから代表者となった方の経験談なども伺い、それぞれの事業所で行っている事を体系的に整理や分析を行い、先進的な取り組みをしているマネージャーが日々行っていることについての情報交換をすることなどから、マネージャーとしての資質向上を図り、業界の発展に寄与する“ネクストリーダープロジェクト”を年4回程度開催する予定であります。

④コーチ対象講習会・勉強会・情報交換会の開催【コーチ部会】

テニスコーチのスキルアップを目的に、ジュニアの育成強化、テニスの普及、サービス業としてのノウハウ、事例紹介、異業種での体験会など各種の講習会・勉強会・情報交換会を年4回程度開催する予定であります。

⑤フロント対象講習会・勉強会・情報交換会の開催【フロント部会】

テニス事業に於けるフロント業務は年々その重要性が増しております。フロントの皆様が日頃から悩んでいることへの解決の糸口など、これからの業務に役立つ情報提供やフロントの資質向上を目的にフロント育成塾を年4回程度開催する予定であります。

⑥コーチング講座の開催【各部会共通】

職位を問わず経営者から従業員まで全てのスタッフを対象に「コーチング」を学ぶための講座を開催する予定です。

4. テニス事業に関する普及及び啓発（定款第4条第4号関係）

児童や青少年を対象としたテニス等の体験活動を開催することで、スポーツを通じた健全な育成のきっかけを創出します。また、一般向けには単なる試合ではなく、普及と振興を目的とした大会を実施することで、生涯スポーツ社会の実現に貢献していきます。

ア. キッズ&ジュニアテニスカーニバルの開催【普及委員会】

東京都のスポーツ振興事業、スポーツの日記念事業。テニス未経験者・経験者の子供達により楽しいテニス体験が出来る場を提供する事をテーマに年1回、未就学児より中学生などを対象としたテニス無料体験会を有明テニスの森公園で開催します。

イ. 有明チームテニスコンペティションの開催【事業委員会／普及委員会】

東京都のスポーツ振興事業。有明テニスの森公園のテニスコートを使い多くの人が参加する大会です。個人戦が中心のテニスにあって、団体戦と言う形態による大会を年1回開催し、スポーツの振興に寄与する事業を有明テニスの森公園で開催します。

ウ. 有明の森スポーツフェスタの開催【普及委員会／事業委員会】

東京都のスポーツ振興事業。有明テニスの森公園を使用し、スポーツに触れ合う機会をつくり、子どもが「スポーツ好き」となり、体力向上のきっかけとなるイベントを開催いたします。主に児童、青少年を対象とした無料体験会を実施しますが、大人もスポーツを体験できる場を提供し、生涯スポーツ社会への参加を促す、テニスのための「有明の森テニスフェスタ」として開催します。

エ. トリプルス全国大会の開催【テニス・トリプルス特別委員会】

テニス事業の普及と振興を目的に従来のテニス競技の種目である、シングルス（1人対1人）・ダブルス（2人対2人）に加え、新たな種目として「トリプルス」を制定しました。3人対3人で行うことと、通常ボールより柔らかいグリーンボールを使用することにより、ラリーが続き、戦略的にも面白みが増し、動く距離が少なく、高齢者や初心者のみならず上級者までが楽しむこと

ができます。さらに、3人の男女構成や合計年齢の設定を変えるなどにより、競技の幅が広がり、生涯スポーツ社会への参加を促すと共に、スポーツの振興に寄与するものと考えております。また、「トリプルス」を速やかに普及・浸透させるために全国大会を開催し、広く参加者を募る予定です。

5. テニス事業に関する苦情処理等（定款第4条第5号関係）

ア. テニス消費者苦情電話相談センターの運営【広報委員会】

テニス事業とその周辺で発生する諸問題、消費者からの苦情に対応する、消費者苦情電話相談センターを運営いたします。それぞれの事例に対し専門家に相談をして解決を図り、その情報を共有し将来のテニス事業活動に活かすようにいたします。

6. テニス事業に関する内外関係機関等との交流及び協力（定款第4条第6号関係）

テニス事業者を代表する団体として、その他のテニス関連団体やテニス関連会社と、振興・普及を主な目的とした種々の交流、協力を行います。また各地域での普及、振興活動に対しては支援・後援等を行います。これらの活動を通じて、広く社会的なスポーツ振興に貢献する事業として取り組んでいきます。

ア. テニスの日推進協議会への参画【普及委員会】

（公財）日本テニス協会、（公社）日本テニス事業協会、（公社）日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟をはじめ15団体で構成。テニスの日推進協議会は、他のスポーツ団体に先駆けて1998年9月23日「秋分の日」を『テニスの日』と定め、テニスの普及、発展を強力に推進するための諸行事を実施することといたしました。『テニスの日』を制定することでテニスの楽しさ、おもしろさをさらに多くの人たちに広めて、健康で明るく生き甲斐ある社会造りに寄与し、それと同時に世界の競技会で活躍できる選手を数多く育て、競技を観戦するなかからテニスへの共感を高めていくことを目的に、47都道府県で実施する「共同イベント」、全国約500箇所で開催する「個別イベント」を開催いたします。

イ. 日本テニス連合への参画【普及委員会】

（公財）日本テニス協会、（公社）日本テニス事業協会、（公社）日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟、テニス用品会で構成され、日本のテニス界として5団体に横断的に存在する問題で、日本のテニス界をより強力に推進して行く為には統一して行くべき制度、問題点等を

公式に取り上げて審議し、その解決案を策定する機関として結成されました。

具体的な課題としては「1. 選手、コーチの資格制度の統一化を図る」「2. 法令の遵守、倫理問題の徹底と資質の向上を図る」「3. 強化・普及に関して、より広範囲な活動が出来るような組織体制を作る」以上のテーマに於いて「日本テニス連合」のトップ会議で審議して解決案を策定いたします。

ウ. テニス活性化委員会への参画【普及委員会】

2008年4月より、テニス用品メーカー（9社）とテニスクールやテニスクラブ事業者が集い、「日本のテニス界を他のスポーツに負けないメジャースポーツに盛り上げたい」「テニス人口を更に拡大したい（ラケットを持つ人を増やしたい）」「強い選手をもっと輩出し世界で活躍して欲しい」との熱い想いを込めて、『テニス活性化委員会』を結成しました。「テニスに関する意向調査」を行ったほか、地道な草の根活動を行いつつ、テニス活性化委員会のスローガンを「始めよう！続けよう！もっとテニスを!!」と決め、「テニスマイル(<http://www.tennismile.jp>)」のウェブサイトを開設し、テニス愛好者やテニス事業者に役立つ情報発信を継続しています。

7. テニス事業に関する各種商品・サービスの販売及び斡旋事業（定款第5条第1号関係）

テニス事業に関わる各種関連用品・物品や施設総合補償の販売や、砂入り人工芝コートのリサイクル事業等のサービスの斡旋及び販売をいたします。

ア. 各種テニス関連商品の斡旋及び販売【事業委員会】

- (1) “テニス施設総合補償制度” の斡旋
- (2) テニスクラブ・テニスクール管理運営ソフトの斡旋
- (3) “JTIA オリジナルスクールのほり” の販売
- (4) AED（自動体外式除細動器）の斡旋
- (5) クレジット決済システムの斡旋
- (6) “砂入り人工芝リサイクル” の斡旋
- (7) 福利厚生サービスの斡旋
- (8) テニス・トリプルス用ローテーションバンドの販売

8. 指定管理事業（定款第5条第2号関係）

ア. 指定管理事業の運営並びに勉強会等の開催【事業委員会】

平成17年度からスタートした指定管理運営に関して、各自治体に於ける施設の活性化とテニスの普及を目的に自主事業等を行っております。また、新規参入を促進す

るために最新の事例紹介などを含め「指定管理者制度」に関する勉強会等の開催を検討いたします。

9. その他の事業（相互扶助等事業）（定款第5条第3号関係）

会員及び賛助会員の拡大のための活動および情報交換会や懇親会を開催します。

ア. 消費者育成イベント等の開催及び後援【総務委員会】

テニス産業界の活性化のために、既存の施設や指導者を有効に利用して、テニス愛好者の拡大と新規需要の創出を即効的、効率的に行います。消費者参加型のイベントを展開し、より多くの国民にテニスを体験する機会を提供することで、地域や消費者に密着した産業として定着を図ります。国民生活のゆとりと豊かさに寄与・貢献する産業として、テニス事業の安定的成長、振興を目指します。本年度も消費者育成イベントの開催および関連団体等の同種イベントの後援をいたします。

イ. 会員数の拡大推進活動【総務委員会】

本協会はテニス事業の社会的地位の向上を目的に活動している団体であることを非加盟テニス事業者に周知し、テニス事業者が困った時に相談出来るような体制を整え、テニス事業者に役立つ情報提供を行い、積極的に会員数の拡大を推進していきます。

ウ. 地区組織活性化の推進【総務委員会】

各地区組織の活性化を推進するために、地区組織が開催する「消費者育成のための大会ならびに講習会」「新規需要創出のための大会ならびに講習会」「管理者・指導者の資質向上を目的とした大会ならびに講習会」等の事業に対する支援を行います。

エ. 賛助会員意見交換会の開催【総務委員会】

本協会のテニス界において果たすべき役割が年々増してきております。そこで日頃よりご支援を頂いております賛助会員の皆様方との懇親をより深める会を開催いたします。

オ. テニス事業を取り巻く税制勉強会の開催【税制委員会】

現在のテニス施設経営を取り巻く税制は非常に厳しい状況にあり、事業者自らも自己啓発や研鑽に努め、現在の税制に対する理解と対策を講じていく必要があります。テニス事業に関連する税制や、大きな問題でもある事業継承などに焦点をおいて、講演や事例紹介を中心とした「税制勉強会」の開催を予定しております。

カ. 雑賀杯日本テニスチーム大会の開催【事業委員会】

テニス事業所チーム対抗戦を開催し、テニスクラブメンバーやスクール生などへ競技参加目標を掲げ、競技に参加できる環境を提供し、テニスを通じて地域間交流を促進しながら個別テニスクラブ・スクール及び業界組織の結束及び事業の活性化を促進させることを目的として開催いたします。

キ. 会員サポートプロジェクト【会長直轄】

テニス事業に於ける様々な課題に対し、それぞれの専門家を紹介して問題解決を図り事業の活性化や円滑化を行う事を目的に事業を推進する予定です。

ク. テニススクール活性化プロジェクト【スクール部会】

本協会の加盟事業所間における「全国スクール間レッスン振替システム／どこでもテニス」および「全国テニススクール生・長寿ランキング」導入に関する調査研究を行います。

2025 年度 行事／会議 開催計画

2025年度	行事・会議	開催地
2025年		
4月29日(祝・月)	有明の森テニスフェスタ (インドア8面)	有 明
4月下旬～5月上旬	テニスクラブ・スクール会員在籍数調査	
5月8日(木)	第1回幹部会	神 田
5月22日(木)	第1回理事会	神 田
5月31日(土)～6月1日(日)	第5回テニス・トリプルス全国大会 in 北海道	札 幌
6月17日(火)	第33回定時総会／第2回幹部会 (アルカディア市ヶ谷)	市 ヶ 谷
6月26日(木)	正会員・賛助会員／テニス&一泊情報交換会	
7月8日(月)	テニスプロデューサー限定研修会 (アルカディア市ヶ谷)	市 ヶ 谷
7月9日(火)	第3回幹部会	神 田
8月	テニス事業に関わる租税及び経営に関する状況調査	
9月18日(木)	第2回理事会	神 田
9月	「テニスの日」記念イベント	各 地
10月11日(土)	キッズ&ジュニアテニスカーニバル (インドア8面)	有 明
10月21日(火)	経営勉強会 TOPGUN PROJECT 2025 (アルカディア市ヶ谷)	市 ヶ 谷
10月22日(水)	第4回幹部会	神 田
11月5日(水)～7日(金)	第20回テニスプロデューサー資格認定講習会&試験	東京大阪
11月19日(水)	第5回幹部会	神 田
11月29日(土)～30日(日)	有明チームテニスコンペティション (インドア8面)	有 明
12月11日(木)	第3回理事会	神 田
2026年		
1月8日(木)	新春特別講演&賀詞交歓会／第6回幹部会(アルカディア市ヶ谷)	市 ヶ 谷
1月下旬	雑賀杯 日本テニスチーム大会／西日本大会	大阪・靱
1月31日(土)予備1日(日)	雑賀杯 日本テニスチーム大会／東日本大会 (アウト8面))	有 明
2月4日(木)	第7回幹部会	神 田
2月16日(月)～17日(火)	第36回日本テニス産業セミナー	名 古 屋
2月28日(土)	雑賀杯 日本テニスチーム大会／全国大会 (インドア4面)	有 明
3月12日(木)	第4回理事会	神 田

テニスプロデューサー紹介

シニアテニスプロデューサー資格を取得して

STP140205

TOP インドアステージ横浜コットンハーバー 田頭 淳吾



ご挨拶～はじめまして～

はじめまして。VIP・TOPグループ、トップインドアステージ横浜校にて支配人を務めております田頭淳吾（たがしら じゅんご）と申します。

私は、もともとレッスン業務委託コーチとしてテニス業界に足を踏み入れました。その後、契約社員から正社員、サブヘッドコーチ、ヘッドコーチへとステップを重ね、現在の支配人という立場に至りました。現場で生徒さんと直接関わる時間が長かったからこそ、コーチという仕事の魅力や難しさ、そしてスクールという場が持つ可能性を日々感じてきました。

そして、今回私が「シニアテニスプロデューサー」の資格を取得したきっかけは、支配人への昇格を機に、上司から「より広い視野でスクール全体を見渡せる知識が必要だ」と勧めていただいたことでした。レッスンのクオリティや指導力だけでなく、スクール運営全体を俯瞰して見る力、それを組織に反映していく知識や感覚。それらを備えることが、次のステージに進むために欠かせないと痛感し、挑戦を決意しました。

資格取得に至るまでの過程は、自分自身を見つめ直す時間でもありました。これまで経験してきた現場での学びを土台に、スクール全体の仕組みや経営について体系的に学ぶ中で、「コーチでありながら経営者の視点を持つ」という新たな意識が芽生えてきたように思います。

シニアテニスプロデューサー資格取得で得られたもの

「シニアテニスプロデューサー」の資格取得を通じて、私は多くの気づきと学びを得ることができました。何よりも大きかったのは、コーチという現場出身者の私がスクール事業全体を運営するための幅広い知識を得られたことが大きな収穫です。運営や経営といった言葉に対し、かつての私はどこか他人事のように感じていた部分がありましたが、実際に現場を担う支配人として、その理解は必要不可欠なものでした。

この講座の素晴らしさは、理論を詰め込むのではなく、「身近な事例をもとに実践的に学べる」構成になっていたところでした。スクールでよく直面する課題や、業務の中で感じていた疑問が、学びの中でどんどん言語化され、整理されていく感覚はとても新鮮でした。例えば、施設の重要性について考える中で、ただ清潔で設備が整っているだけでなく、「お客様とスタッフにとって心地よい空間とは何か？」を見直すことができました。また、労務管理についても、「人が辞めない仕組み」や「人が育つ組織づくり」に対する視点が深まりました。さらには、財務やマーケティングについても、数字や理論だけでなく、それをテニススクールという実際の現場にどう活かすかという観点で学ぶことができ、理解が非常にスムーズでした。このように、現場経験者の目線に立って構成された教材は、私にとって非常に実用的で、「学んだことをすぐに実務に活かせる」点でも大きな価値が

ありました。

「環境を整える」ことの大切さとこれから

資格を取得し、スクール運営に必要な知識を体系的に学んだ今、私がこれから何よりも大切にしたいと考えていることは、「環境を整える」ことです。「環境次第で、良い人間も悪い人間になる。逆に、悪い人間も良い環境であれば良くなる」——これは、私がこの数年で強く実感してきたことです。現場で長く働いてきたからこそ、どれだけ優秀なスタッフでも、劣悪な環境では本来の力を発揮できず、逆にごく普通の人々が素晴らしい働き手になることもある。その違いを生み出すのが「環境」なのです。

だからこそ私は、これからもシニアテニスプロデューサーとして学び続け、人材不足の解消や業務改善、勤怠管理、施設管理などの整備を通じて、働く人が「ここで働くのが楽しい」と思えるような環境を作っていきたいと考えています。

そのためには、常にアップデートする姿勢が求められます。「昔はこうだった」という考えに縛られず、時代や社会の変化に応じて柔軟に対応し、進化し続けること。それこそが、真に持続可能で魅力あるテニススクールをつくる鍵だと思います。

環境づくりとは、ただ制度を整えることだけではありません。現状を正しく把握し、現場の声を聴き、社会や業界の流れを読み取りながら、それに応じて手を打っていくことが求められます。そしてこの「現状の把握」と「未来への適応力」は、まさに今回学んだシニアテニスプロデューサーとしての知識によって支えられていくものだと感じています。

結びに ～資格取得の価値～

今回、シニアテニスプロデューサーの資格を取得して改めて実感したのは、「知識は未来への選択肢を広げてくれる力」だということです。日々の業務に追われていると、どうしても目の前の課題解決に集中しがちですが、その先にある理想のスクール像を描くためには、経営者の視点や、時代の変化に対応するための力が不可欠です。資格取得はまさにその第一歩であり、自分自身と組織、そしてお客様に対しての責任を新たにする機会となりました。

この資格は、単なる「肩書き」ではなく、「テニス業界に新しい価値を届ける人材であること」の証だと、私は信じています。

今後も私は、この学びを日々の実務に活かし、より良い環境とサービスを提供できるよう努めてまいります。これから資格取得を目指す方には、ぜひこの機会を「未来の自分に投資する時間」として捉えていただければと思います。

最後までお読みいただきありがとうございました。

長嶋さんの計報をお聞きして、驚きと共にスポーツ界にとって太陽のような存在の喪失感が日本中に漂っているかのように感じるのは私だけでしょうか？あのお声で、「セコムしてますか？」は私の心に焼き付いています。次は松岡修造さんがやってくれたらいいのに、などと一人思うのです。

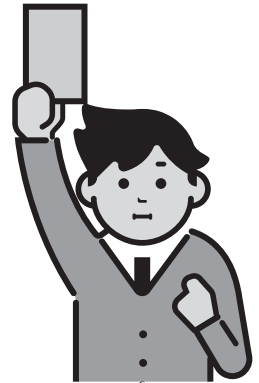
さて最近、ハラスメント、コンプライアンス、ガバナンス等カタカナ用語に溢れ、むず痒い思いをするのですが、皆さんは如何でしょうか？

「コンプライアンス」を日本語に訳すと「法令遵守」のこと。組織が法律や規則、倫理や社会規範に従って行動することを意味します。

当たり前のことだろう、規則や法律を守るのは！！とおっしゃいますが、振り返ってみますと何やら怪しくあぶなっかしいことはありませんか？企業の活動において

も個人の行動についても、身近に「それって良いの？」と確認できるようにしておけたらいいですね。

- その行為行動は企業理念に反していないか？
- 自分の行為は社会のルールに反していないか？
- 自分の行為は自分の良心に反していないか？
- その行為は家族に後ろめたくないか？



早速、事務所の壁に貼り付けようと思います。

～気をつけましょう！この季節～

湿度の高い梅雨から本格的な夏に入ります。

近年の気候変動により、さらに厳しいコンディションも予想されます。

お客様、スタッフともに体調管理を一層強化しましょう。

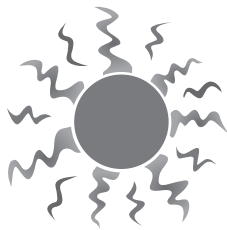
*暑熱順化

身体を徐々に暑さに慣れさせていきましょう。

空調の効いた室内の生活に慣れてしまうと、「発汗」の機能が低下し、暑さに対応できない身体になってしまいます。

積極的に汗をかける身体にするために徐々に暑さに慣らしていきましょう。

- ・ウォーキングなどの負荷の少ないスポーツで身体を慣らしましょう。
- ・腹筋などの簡単なトレーニングで少しでも筋肉量を増やし血行促進をしましょう。
- ・入浴は湯船に浸かりましょう。
- ・冷房の設定温度が低くなりすぎないように注意しましょう。



*プレー時の注意

・こまめな休憩を

練習時は長くなりすぎないようにこまめに休憩をとりましょう。

試合時もチェンジコート時はしっかり休みましょう。

レッスンではドリルの切り替わり等に水分補給の時間を取りましょう。

コーチはレッスン時に水分補給タイムを設定するようにしましょう。

また、お客様にはご自身の判断で水分補給や休憩のためにプレーを抜けられるようお勧めしましょう。

・お客様の様子に注意

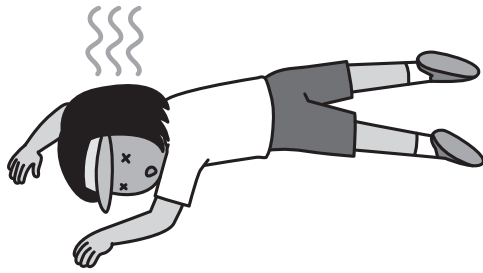
お客様の表情や動きなどを注意深く観察し、おかしいなと思ったら休憩や水分補給などの指示を出しましょう。場合によっては、レッスンを抜けることもお勧めしましょう。

シニアは自分の状況を感じ取れない場合も多いため、コーチによるケアが必要です。

ジュニアは自分からは言い出しにくく、無理をしてしまう場合も多くあります。

また、帽子を被っている場合、表情も読み取りにくい





ものです。

コーチから近づいての観察、声掛けをしましょう。

• 水分補給

一度に多くを摂取するのではなくこまめな水分補給が大事です。

飲み物の温度は、常温または5度～15度に冷やした物が適当です。

温度が低い方が爽快感はありますが、低すぎると吸収が悪くなりますので注意しましょう。

水やお茶ではなく、塩分、糖質、電解質を補給できるスポーツドリンクを飲みましょう。



喉が渴いたなと思った時には脱水は始まっており、熱中症になっている場合もあります。

運動中だけでなく、来場前からこまめに水分補給することが重要です。

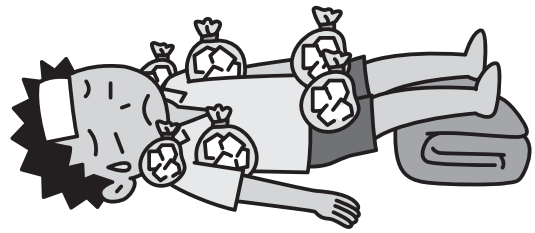
* 熱中症になった場合は

まず身体を冷やしましょう。風通しの良い日陰に移動させ、衣服を緩め安静にします。

太い血管のある部位（首・両脇・足の付け根）部分を冷却しましょう。

自力で水分補給が出来ない場合や吐き気、手足の痺れがある場合は、救急車の要請、医療機関での受診が必要です。

生命に関わる場合もありますので、救急車要請を躊躇しないことです。



* 熱中症対策（厚生労働省）

令和7年6月1日、職場における熱中症対策を強化するため、改正労働安全衛生規則が施行され、これにより、現場における「体制整備」・「手順作成」・「関係者への周知」が事業者には義務付けられました。

対象は、「WBGT 値（暑さ指数）が28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業とされ、テニス事業者はこれに該当するものと思われます。

主な改正内容

- 熱中症のおそれがある労働者の早期発見
- 状況に応じ、迅速かつ適切に対処
- 熱中症の重篤化を防止するため、「体制整備」・「手順作成」・「関係者への周知」

上記は事業者には義務付けられ、対策を怠った場合は罰則が課せられます。

厚生労働省サイトの「熱中症予防のための情報・資料サイト」をご参照ください。

（「厚生労働省 熱中症」で検索）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/



安全・危機管理セミナー 「高齢化するクラブ・スクール会員への対応3」 ～テニスは高齢期の健康づくりに最適です！～ 開催報告

安全委員会 副委員長

野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社 前田 勝志

日 時：2025年6月12日（木） 13：30～16：30

開催形態：ハイブリッド開催（現地参加＋Zoom参加）

参加人数：20名（現地参加9名、Zoom参加11名）

講 師：郷間 加奈子氏（MKM ハートフル株式会社 理学療法士）

本杉 優和氏（株式会社ルネサンス 地域健康推進部）

安全委員会主催の安全・危機管理セミナー「高齢化するクラブ・スクール会員への対応」の3回目を開催しました。超高齢化社会と言われる中で、講師の郷間加奈子氏（MKM ハートフル株式会社 理学療法士）より理学療法士の視点、ケアセンターに在籍している高齢者の現状を講義して頂きました。

《参考数値項目》

- 日本の高齢化率：29.3%
- 平均寿命：男性 81.09歳／女性 87.14歳
- 健康寿命：男性 70歳／女性 73歳

体力的な不安が来る年齢は71.72歳と言われており、80歳でスポーツを辞める。

年齢を重ね出来ることが減ってくると、運動機会の減少、意欲の減少、挫折感により運動や外出する回数が次第に減っていきます。友人の数も減ってくるので社会やコミュニティとの接点が少なくなり、より引きこもる悪い流れになります。我々テニスに携わるものは、テニスを通じて何かに熱中すること、人との繋がりを作り、ひとりひとりの「生き甲斐」や「楽しみ」を生み出すことができる職種です。個々様々な能力に衰えが出てきますが、我々のアプローチ次第で改善させることも出来るかもしれません。インプット、アウトプットで考えていただくことで脳、神経、臓器のトレーニングにも繋がります。

す。レッスン内で出来ること、自宅で出来ることを提示するなどサポート出来ることもあります。

高齢者の特性を理解しひとりひとりに寄り添い、過去ではなく現状（体調、運動能力）を理解できるよう

日々の変化に気づき、コミュニケーションをとることが重要です。長くテニスを続けていただき、心身ともに元気で長生きすることのサポートが出来ることを再認識する機会となりました。



『テニスの日』新たなスタートに向けた声明文

平素より『テニスの日』の活動に温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

『テニスの日』は、設立以来 27 年間に亘り、テニスを通じて人々の健康促進や交流、そしてスポーツ文化の普及を目指し、多くの活動を展開してまいりました。この間、全国のテニス関係者と共に築き上げた絆と成長は、私たちの誇りであり、大きな財産です。

しかしながら、社会やスポーツを取り巻く環境は年々変化し、新たなニーズや価値観が求められる時代となりました。このような時代の流れを受け、私たちは『テニスの日』の役割とその活動を再考し、新しい未来へ向けた一歩を踏み出すことといたしました。

これからの『テニスの日』は、これまでの活動で培った基盤を大切にしつつ、時代の変化に対応した新しい形での挑戦を続けてまいります。すべての世代が気軽にテニスを楽しみ、スポーツを通じて心豊かな生活を送るための場を提供することを目指し、多様性を尊重した活動を展開していきます。

また、インターネットやデジタルツールを積極的に活用し、オンラインを通じて多くの方々にテニスの魅力や情報を届ける新しいプラットフォームを構築してまいります。SNS を活用したコミュニティ活動を通じて、より多くの人々とつながり、テニスの楽しさを共有していきます。

これからも私たちは、テニスの魅力を広く伝え、社会全体の幸福に貢献することを使命として活動してまいります。引き続き皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後に、これまでの 27 年間に亘るご支援に深く感謝するとともに、新たな時代を迎える『テニスの日』が、皆様の心にさらに深く根付き、輝き続けることを目指し、新たなスタートをいたします。

2025 年 4 月 1 日
テニスの日推進協議会

有明の森テニスフェスタ 2025 開催報告

普及委員長 新堀 丘

- 主 催：有明テニスマネージメント・チーム
(公益社団法人日本テニス事業協会・東京港埠頭株式会社)
- 特別協力：テニス用品会
- 協 賛：ダイドードリンコ株式会社、城南信用金庫
- 後 援：公益財団法人日本テニス協会、公益社団法人日本プロテニス協会
- 期 日：2025 年 4 月 29 日（火・祝）
- 会 場：有明テニスの森公園インドアテニスコート
- 参 加 料：無料
- 内 容：①プロテニス選手によるテニスクリニック
- | | |
|----------------|---------|
| A-1：親子キッズ | 定員 16 組 |
| A-2：親子キッズ | 定員 16 名 |
| B-1：ジュニア・小1～小3 | 定員 32 名 |
| B-2：ジュニア・小4～小6 | 定員 32 名 |
| C-1：一般・中学1年以上 | 定員 16 名 |
| C-2：一般・中学1年以上 | 定員 32 名 |
- ②てのひらけっとコーナー
- ③子どもテニス体験コーナー
- ④テニス・トリプルスでプロコーチに挑戦
- ⑤テニスラケット試打会・シューズ試履会
- ※④～⑤は年齢制限・②～⑤は定員なし

参加者数：694 名（延べ人数）

●参加人数等報告

種目・イベント等	合計
プロテニス選手によるテニスクリニック 親子キッズ	30
プロテニス選手によるテニスクリニック 小1～小3	27
プロテニス選手によるテニスクリニック 小4～小6	22
プロテニス選手によるテニスクリニック 中1以上	23
てのひらけっと	81
子どもテニス体験コーナー	90
ターゲットナイン（ニャオハ ストラックアウト）	95
テニス・トリプルスでプロコーチに挑戦	218
テニスラケット試打会・シューズ試履会	108
総合計	694

4月29日（火・祝）に恒例の「有明の森テニスフェスタ」がインドアコート8面を使用して開催されました。テニス事業協会加盟各社から選りすぐりのスタッフ

さんが一堂に会しイベントを運営しました。

参加対象はキッズから一般の方まで、つまりは老若男女全ての方が対象です。テニス界の課題はジュニア・キッ

ズの参加人口を増やすことでもあり、親子レッスンや小学校低学年クラスは多めに設定しています。

親子クラスではキッズ（未就学児）と保護者の方が一緒にコートに入りレッスンを受けます。以前はキッズだけがコートに入ってレッスンをしていたのですが、ぐずる子や泣き出す子など大変な騒ぎだったので数年前（コロナ前）に親子クラスに変更しました。保護者の方が一緒だと子供達の安心感が全く違い、笑顔溢れるレッスンとなっています。

そしてテニス関連メーカーさんのテニス用品会が新機種、人気機種種の無料試打会を2面で展開しました。メーカーの社員さんは学生時代にテニス部だった方が多く、テニス技術も相当なものです。お客様は気持ち良くパンパン打っていましたね。試打というよりひたすら楽しんでいる方も見受けられました。これも楽しみ方なのでしょう。

今回のイベントにキッズテニスアンバサダーに公認さ

れているポケモンのニャオハが登場！小さなお子さんの人気は絶大で、ピッタリと抱きつく子、撫で続ける子が続出していました。ニャオハがテニス界と一緒に歩んでくれている事に感謝し、最大限の効果を発揮できるよう取り組みたいものです。ニャオハは今後も様々なテニスシーンに登場する可能性があります。期待してください。

今回の参加者は総延べ人数で694人でした。通常レッスンの他にトリプルスやターゲットナイン（ニャオハストラックアウト）、てのひらけつなどのアトラクションコートも盛況でした。トリプルスはやれば面白さが分かるのですが、中々機会が無いのが現実です。今後も体験できる場を設けていくつもりです。今回の延べ人数が多いのか？少ないのか？と問われたら【やや少ないですね】というのが正直な気持ちです。私がこの部類のイベントを担当するようになって何年か？来年に向け新しい切り口、取り組みが必要だと強く感じた次第です。



第5回テニス・トリプルス全国大会 in 北海道開催報告

第5回テニス・トリプルス全国大会 in 北海道 開催報告

●要項概要

- 主 催：公益社団法人日本テニス事業協会・北海道テニス事業協会
主 管：公益社団法人日本テニス事業協会 テニス・トリプルス特別委員会
後 援：公益財団法人日本テニス協会、公益社団法人日本プロテニス協会
特別協賛：テニス用品会
協 賛：ダイードドリコ(株)、(株)アルペン、(株)ビーシーセンター、インドアテニスセンター
ウイング、(株)クリヤマススポーツプロモーションズ、狛江ローンテニスクラブ、(有)コス
モテニスカレッジ、(公財)吉田記念テニス研修センター、(株)レック興発、(株)クリス
タルプランニング、(株)サイオ、(株)スポーツクリエイト、月見野ローンテニスクラブ、
テニスパーク湘南、(株)正木企画
日 程：2025 年 5 月 31 日 (土) 40 才以上の部・60 才以上の部
2025 年 6 月 1 日 (日) 50 才以上の部・一般の部
会 場：コミュニティドーム「つどいむ」札幌市東区栄町 885-1
種 目：ミックス・トリプルス (男女混合、1 チーム 3 名で編成するチーム戦)
試合使用球：グリーンボール
試合方法：(両日共に) 前半／リーグ戦 後半／順位別リーグ戦
(60 才以上の部のみ) 前半／リーグ戦 後半／順位別トーナメント



●結果

[2025 年 5 月 31 日 (土) 40 才以上の部]

- 参加チーム数 9 チーム (28 名)
- 1 位ブロックリーグ戦 優勝 JITC
準優勝 utari
3 位 Team REC しんゆり
- 2 位ブロックリーグ戦 優勝 最強モンブラン
準優勝 こすもっち
3 位 ウイングひつじ
- 3 位ブロックリーグ戦 優勝 Wit 奥の手
準優勝 ういんぐ JTIA40
3 位 チーム利休



【2025 年 5 月 31 日（土） 60 才以上の部】

- 参加チーム数 8 チーム (29 名)
- 1 位 / 2 位トーナメント 優勝 STA
準優勝 Team TMG
3 位 典子様
4 位 札幌熟年テニスクラブ
- 3 位 / 4 位トーナメント 優勝 セントポール
準優勝 SK2 札幌
3 位 年中無職
4 位 チーム伯爵



【2025 年 6 月 1 日（日） 50 才以上の部】

- 参加チーム数 9 チーム (32 名)
- 1 位ブロックリーグ戦 優勝 utari
準優勝 スポーツサポーター
3 位 はちわれ
- 2 位ブロックリーグ戦 優勝 典子様
準優勝 かおちゃんず
3 位 STA
- 3 位ブロックリーグ戦 優勝 チーム OM
準優勝 ウイング JTIA50
3 位 ウイング・エゾリス



【2025 年 6 月 1 日（日） 一般の部】

- 参加チーム数 9 チーム (32 名)
- 1 位ブロックリーグ戦 優勝 TOP インドアステージ
札幌森林公園
準優勝 ルネサンス札幌平岸
3 位 ウイング羊ヶ丘
- 2 位ブロックリーグ戦 優勝 JITC
準優勝 Team REC しんゆり
3 位 ベイスターズ
- 3 位ブロックリーグ戦 優勝 ウイング大谷地校
準優勝 ガーデン・ファイターズ
3 位 つつつんち plus



第5回テニス・トリプルス全国大会 in 北海道 参加レポート

ノアインドアステージ株式会社 中山 泰孝

初めてテニス・トリプルの大会に参加させていただきました。実際のゲームに入るまではローカルルールでの練習程度でしかテニス・トリプルスに触れたことがなく、グリーンボールを使用して、1ゲーム毎のローテーションをおこなう本格的なテニス・トリプルスは今大会のゲームが初めてでした。

同じチームの方も最初の試合は戸惑っておられ、その思いを共有していただいたことで私の緊張は解けていきました。40歳以上の部で平均年齢が60歳！それでも楽しめてしまうのがテニス・トリプルの良い所だと感じました。1勝できた時にはチームの3人でハイタッチして喜び合うこともできました。初対面の方々と、こんなにも楽しくゲームができ、しかも勝ったことでより戦術を考えるようになりました。

二日目（6/1）も50歳以上の部で参加させていた

だき、テニス・トリプルスならではのゲームを経験させていただきました。テニスクールで中級クラスの方とテニスは昨年秋以来久しぶりという方で構成されたチームにもかかわらず、第1ゲームでのポジションを考え、戦略・戦術を駆使することで、なんと北海道代表経験のある方がいらっしゃるチームに勝利しました。レベル差のあるチーム同士でも対戦すれば、どちらが勝つかかわらないという点もテニス・トリプルの魅力のひとつだと気づくことができました。

初めての参加にもかかわらず、多くの方々との対戦を楽しむことができ、今後のテニス・トリプルの普及に向けて刺激をいただくことが出来ました。

第5回テニス・トリプルス全国大会 in 北海道にご参加いただきました皆様、運営にあたっていただきました大会スタッフの皆様、二日間ありがとうございました。



テニス事業所訪問 in 神奈川 報告

クラブ部会 部会長 野田 照彦

今期のクラブ部会・後継者の会では、以下の活動を計画・実施してまいります。

- ・情報交換／勉強会：年2回（9月、3月）
- ・テニス交流会および忘年会：年1回（12月）
- ・新規事業所訪問：年1回（5月）

このうち新規事業所訪問については、新たなメンバーの参加促進を目的に、神奈川・千葉・埼玉方面を中心に、正副部会長および事務局が主体となって活動を進めてまいります。今年度は、5月13日(火)に神奈川県内の5事業所を、計7名で訪問いたしました。

〈訪問事業所〉

◇ファーストシティテニスクラブ

〒252-0813 神奈川県藤沢市亀井野 1501

地域貢献活動にも積極的に取り組んでおり、テニスを中心に、サッカーやダンス教室、さらにはママの応援プログラムなど、多彩な分野で新しいチャレンジを行っている姿が印象的でした。特に驚いたのは、4月29日(祝)に施設内で開催されたフェスタです。当日はなんと1,500名を超える来場者があったとのことで、地域に根ざした取り組みが多くの方に支持されていることを実感いたしました。地域の方々との交流拠点としての活動は非常に活気があり、その姿勢には大きな刺激と学びをいただきました。



◇テニスパーク湘南

〒253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見 627

年間1000大会の運営を行う中で、カメラを設置し無人で試合進行ができるという新しいシステムには、大変

驚かされました。非常に画期的で、今後の大会運営方法を変える可能性を感じました。また、精力的に活動されている亀山さんのお話には、新しい発想やアイデアが満載で、非常に参考になる点が多くありました。運営の効率化や選手・観客へのサービス向上など、多くのヒントをいただきました。



◇ジュンレオテニスドームかしわ台

〒243-0402 神奈川県海老名市柏ケ谷 555-5

インドアコート3面、アウトドアコート4面を有する充実した施設で、テニスはもちろん、ソフトテニスやバドミントンにも対応しています。ジュニア向けの育成にも力を入れており、ジュニアアカデミーを開講するなど、幅広い世代に向けた取り組みが行われています。

また、レディースクラスの充実にも注力しており、施設を有効に活用する取り組みは非常に参考になりました。



◇横浜ガーデンテニスクラブ

〒225-0025 神奈川県横浜市青葉区鉄町 1516

緑に囲まれ、美しく整備されたコートと施設は、まる

で軽井沢にいるかのような優雅で落ち着いた雰囲気を醸し出しており、まさに「テニスクラブの王道」といった印象を受けました。

クラブ内には運営委員会が組織されており、大会やイベントの企画・運営を中心に活動されているとのことでした。会員様主体で円滑にクラブを運営されている姿には深く感心するとともに、クラブ運営の本質について改めて考えさせられる、大変貴重な学びとなりました。



◇ウッドテニスクラブ

〒225-0022 神奈川県横浜市青葉区黒須田 16 - 10
クレーコートに対する強いこだわりと、丁寧に整備をされている姿勢には、深い愛情と誇りを感じ、大変刺激を

受けるとともに学びの多い時間となりました。また、外部のクレーコート造成にも積極的に携わっていらっしゃることで、その専門性の高さにも感心いたしました。さらに、クラブ全体に漂うアットホームな雰囲気は非常に居心地が良く、温かみのある空間づくりに感銘を受けました。



商圏や歴史が異なる5事業所を拝見し、それぞれが独自の課題解決や地域連携を実践されている姿に大きな刺激を受けました。現地で直接お話を伺い、施設を見学できたことは大変有意義でした。来年度は千葉方面の事業所を訪問し、更なる交流と学びを深めてまいります。



第十期スクール経営研究会 第1回開催報告

スクール部会 部会長 蒲生 清

スクール部会で開催しております「スクール経営研究会」では、経営に携わる参加者の悩みや提案を皆で話し合う学びの場として10年目を迎えました。

レジャー白書等では近年テニスの人気は高まり愛好者も増えているとの報告がありますが、我々テニス事業者には余り感じられない状況です。そこで今期は「What is Tennis?」というテーマで今一度テニスの原点に戻り、テニススクール事業を見つめ直す勉強会としました。

6月9日(月)に開催されました第十期の第1回勉強会には17名が参加し、事例紹介として10年目を迎えるにあたり私が今年5月に開業した会員制テニスクラブの紹介を行いました。この事業はテニススクールとテニスクラブの中間的なシステムを導入し、レッスンをゲームに置き換えた新しいスタイルのテニスクラブです。またベテランのコートマネージャーを配置する事による人材不足の解消を目指しました。

参加者全員による近況報告では、テニス環境の現状やジュニア大会におけるマナー問題、施設の老朽化に伴う改修等を中心に発表を行っていただきました。

今回は会場での参加者も多く、今後は会場とWebでのハイブリッドで開催する予定です。単発参加も承っておりますので、地方のスクールや小規模スクールで日頃参加の難しい経営者の皆様のご参加をお待ちしております。

■第十期スクール経営研究会（リモート開催）

【第1回】 2025年6月9日(月) 13:30~16:30

17名参加

事例紹介 インドアテニスセンター ウイング代表
蒲生 清氏

- 1) テニス環境の実態：公営コート、テニスリゾート、白タク他
- 2) ジュニア育成の問題点：指導者、保護者、大会引率他
- 3) 施設の老朽化と設備投資：施設、コート、照明、空調他

■第十期スクール経営研究会

（リモート開催 ※現地参加可）

【第2回】 2025年9月1日(月) 13:30~16:30

【第3回】 2025年12月8日(月) 13:30~16:30

【第4回】 2026年3月9日(月) 13:30~16:30

※単発参加も受け付けております。

開催要項、申込用紙は本協会ホームページをご確認ください。



ネクストリーダープロジェクト開催報告 ～様々なスクールから学ぶ問題解決策～

マネージャー部会 部会長

ノアインドアステージ株式会社 市辺 拓也

日 時：2025年5月14日（水） 14：00～17：00

場 所：公益社団法人日本テニス事業協会 会議室

参加者数：23名

講 師：マネージャー部会メンバー

この度、ネクストリーダープロジェクトを開催させていただきました。今回は様々なスクールから学ぶ問題解決策と題して、マネージャー部会の部会長並びに副部長7名による各社の事例や考え方を発表させていただきました。ノアインドアステージ株式会社 市辺氏はスクール集客における多種目導入の可能性について、株式会社GODAI スポーツエンターテインメント 牧内氏は試合イベントを通して継続率を上げるこだわりの仕組みについて、株式会社テニスラウンジ 江口氏はいま各社の課題である人材採用について、株式会社クリヤマススポーツプロモーションズ 志賀氏はコーチの賃金やコーチに必要なものなどの考え方とこれからのテニス界について、ジュエインドアテニス 戸谷氏はご自身の激動の経験を活かした気づき力の大切さについて、株式会社ITC 高垣氏は施設の空間プロモーションに大切な色や備品へのこだわりについて、スポーツクリエイト 西潟氏は少子

化対策におけるブランディングの必要性と対策についてのお話しでした。どの発表もそれぞれの強みや各社の特徴を感じました。こうした実際の経験談やリアルな取り組みは、自社にいるとなかなか聞けない話ですので、参加者の方は情報収集という部分ではもちろん、気づきやこれからの可能性が大いに広がった時間になったのではないのでしょうか。また、参加者のみなさまの事前にいただいた質問についても各社の強みに沿った返答をすることで、より問題解決の後押しになったのではないかと思います。

今回のセミナーは単発ですが、次回8月から始まるネクストリーダープロジェクトでは、3月まで継続して学び続けるより内容の濃いセミナーになっております。これからのテニス界を担うマネージャー職、マネージャーを目指す方、次世代のリーダーとして業界を牽引したい方の参加をぜひお待ちしております。



第47回コーチステップアップアカデミー 「体験入会率を上げよう！継続率を上げよう！ そして退会者を減らそう！」 ～そのことについて学び、みんなで考えてみませんか～ 開催報告

コーチ部会 副部長
ジュンレオ 杉江 友祐

日 時：2025年3月18日（火） 14：00～17：00

開催方法：ハイブリッド開催（現地参加、オンライン参加）

参加人数：25名（オンライン参加7名）

発表者：廣瀬 実氏（株式会社ルネサンス）「体験入会率向上」

鈴木 智倫氏（ノアインドアステージ株式会社）「継続促進」

高橋 和也氏（株式会社スポーツクリエイト）「退会抑制」

3月18日開催のコーチステップアップアカデミーについて報告をさせていただきます。

今回のコーチステップアカデミーは、座学になりました。テーマは「体験入会率を上げよう！継続率を上げよう！そして退会者を減らそう！」でした。

多くの事業所では会員数が減少傾向にあったり、新規入会者が昔ほど多くない為、体験入会率のUPや既存会員の継続率UP、退会者を減らす重要なテーマです。そうした中で今回の講演では三者ともに現在のテニスクールの状況に適したお話しをして頂きました。

廣瀬氏は、入会率を向上するためにお客様とまた来週からテニスと一緒にしたいと伝えるという、簡単なようで意外とコーチが行っていない手法を教わりました。また、体験レッスンからお客様に目標を立て達成する楽し

さを伝え入会率を上げる成功例を教わりました。

鈴木氏は、継続促進の為、無断欠席者（連続2回）フォローや1勝3敗コーチへの指導といった方法で継続率を上げている方法を講義して頂きました。

高橋氏からは、退会抑制のために退会届をコーチに提出する方法を教わりました。コーチに提出することにより、お客様との最後のコミュニケーションが取れ、コーチ自身の継続率把握に繋がる良い手法だと感じました。

三者共に素晴らしい講義でテニス事業者の悩みを解決の方向に導く講義でした。懇親会も14名の参加でその後の個々の質問や手法など各事業者にとっても有意義な場になったと思います。たくさんの学びを得られると思いますので、今後も現地に足を運び懇親会まで参加していただくことをお勧めいたします。



第八期フロント育成塾 第1回開催報告 「最高のフロントになるために」 ～各社のフロント研修を学ぼう～

フロント部会 副部長
TOPインドアステージ氷川台 茨山 加織

日 時：2025年5月20日（火） 14：00～17：00

場 所：公益社団法人日本テニス事業協会 会議室

参加者数：14名

今年度も年間を通して同じメンバーと同じテーマに取り組んでいく「フロント育成塾」が始まり、その第1回目が開催されました。前回に引き続き、「最高のフロントになるために」を目標に掲げ、他社のフロント研修を受け、現場に活かすためのヒントを持ち帰り実施した結果を共有しながら最高のフロントを目指していく内容となっております。

今回、参加いただいた方は入社から半年～1年程のメンバーが半数おり、他社の方と交流する機会も初めてという方も多く、とても緊張感がある雰囲気ですスタートいたしました。はじめに、お互いのバックボーンを知る為に「フロント職についた経緯」「育成塾に参加した理由」「フロントでの悩み」などを盛り込みながら自己紹介を行いました。受講生のみなさんは最初緊張しながらも、いざ自分の番になった際は、さすが日ごろから多くのお客様と接しているだけあり、しっかりとした口調で個性あふれる自己紹介をしていただきました。その中で「お客様からどうしたら信頼してもらえるのか?」「お客様に頼られるフロントとは?」といった自身の課題や悩み、「アルバイト時間が楽しい時間になってほしい。」などの願いなどもお話いただき、聞いている受講生も自分と近い悩みやリアルな問題点などを聞くことができ、

一気に受講生同士の距離が近くなったと感じました。

第1回目の育成塾は、各社の入社時オリエンテーション研修の紹介です。今回は、「VIP・TOPグループ」「ノアインドアステージ株式会社」「株式会社GODAI スポーツエンターテイメント」「株式会社ITC」の4社から社員や、アルバイトスタッフが入社した際に実際に行っているオリエンテーション研修を受講しました。主に今回は、行動指針や、理念、自社の歴史やこだわりなどを入社スタッフに最初からしっかりとマインド面を伝える研修と、身だしなみをはじめ、サービス、おもてなしとは何かといった接客業として大切なことを学ぶ研修を各社ご紹介いただきました。

各社の入社時オリエンテーション、研修資料を拝見し、一緒に働くことになるスタッフへの手厚い研修内容であることはもちろん、「お客様を大切に思う気持ち」が伝わってきました。そして、皆さんの発表を聞き、私も初心に返ることができたので、改めて現場に持ち帰り研修内容や、スタッフへの声掛けを意識していきたいと思います。次回はゲスト講師をお迎えしお話を伺うことができるので、また沢山のヒントを持って帰りたいと思います。



東京都テニス事業協会 2025テニスサービスセミナー開催報告

日 時：2025年3月17日（月） 13：00～16：00

場 所：レックインドアテニススクール上石神井

参加者：23名

今年度のテニスサービスセミナーは、ヨネックス株式会社 販売促進部より阿部 浩志氏をメイン講師、実技担当3名の計4名をお迎えしてセミナーを開催しました。

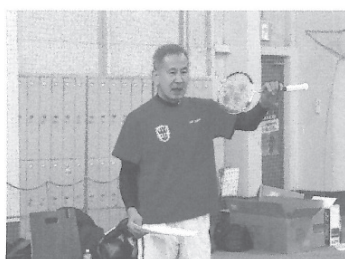
今回のセミナーですが、コロナ禍以降 Zoom によるオンライン形式での開催でしたが久しぶりにレックインドアテニススクール上石神井校様をお借りしての開催になりました。

当日は「バドミントンの競技特性、市場規模並びにスクール事業展開について」というテーマで座学講義、および実技研修を実施しました。座学講義ではバドミントンの歴史から競技人口の推移、各種スポーツとバドミントンスクールとの共同事業などについてお話を頂きました。講義後の質疑応答では、実際のスクール開催におけるバドミントンコーチの実情や、シャトル等のランニングコストなどについての質問が旺盛でした。なお、参加者へ配布する講演資料は縮小印刷した物に正規資料を閲覧出来る2次元コードを印刷することで省紙化しました。

実技研修ではバドミントンラケットとシャトルを使用し、打ち上げなどで各自慣らしながら中盤からは、参加者がコーチ研修のようなシャトル出しを行い、レッスンを擬似的に体験しました。参加者はテニスコーチが多くバドミントンに慣れるのが早い方も多くいらっしゃいました。実際にバドミントンスクールを実施している参加者は、実技担当講師と対等に打ち合っ講師の皆さんに感心されていました。実技終了後は近隣の沖縄料理店にて意見交換会を開催し、食事をしながら懇親を深めました。

本セミナーの感想ですが、参加者自体は少数でしたが、皆さんバドミントン実技やスクール開催に興味のある方が多く、実際にスクール開催に関しコーチ募集や備品等のコスト面での質問など多くの質疑応答がありました。バドミントンスクールを開催する予定の事業所の参加者からは、今後の課題の再確認が出来たとの声や、他にも今後のスクール開催を再検討したいとの声もあり、有意義なイベントとなりました。

【テニスサービスセミナーの様子】



アメリカテニス業界情報 (Tennis Industry United News より)

報告：理事 飯田 浩一

1. 「全国テニス月間」4年目に突入

「テニスを成長させ、世界中の人々と地域社会の健康を促進する」という USTA のスローガンのもと、テニス界を支える様々な分野の事業者および個人が連携して、誰もがテニスを楽しめる環境を作り、プレーヤーの定着を図るため、毎年5月を「全国テニス月間」と定めています。2024年にアメリカ国内のテニスプレーヤーの総数が、前年対比8.3%増の2,570万人に達したことも、この「テニス月間」が有効に働いたと見られます。

この活動の最大のポイントは、「地域密着」ということにあり、さまざまなイベントやプログラムは、その地域に根差したテニスプロや事業者によって、その地域に最善と思われる方法で展開されます。一方で、「テニス月間」を告知するためのマーケティングやプロモーションの資材は、USTA から各地域に一律に提供され、さらにそれらの開発、提供にかかるコストを吸収するために、さまざまな分野のスポンサー開拓にも注力します。USTA の渉外担当ディレクターのミッキー・モレ氏（日本テニス事業協会との連携担当：JTIA ニュース 2025 年 1 月号にて既報）は、「誰にとっても楽しめる

仕掛けがあるので、テニス関連の各メーカー、小売店だけでなくテニスを通して販促を図りたいあらゆるブランド、そしてもちろん全消費者が、このテニス月間での「勝者」となるのです」と述べています。

2. 「テニス界最高の舞台が大幅にリニューアルされる」

USTA は、全米オープンの会場であるニューヨーク・クイーンズ地区の「アーサー・アッシュ・スタジアム」の大幅なリニューアル計画を発表しました。25年以上前に建設された同スタジアムを包括的に強化し、最先端の技術を導入することで、選手たちに比類のない快適なプレー環境をもたらし、来場するテニスファンの体験を最高レベルまで高めることになるとしています。今後3年かけて実施される本リニューアルプロジェクトには8億ドル（約1,140億円）の資金が投入され、全てをUSTAの自己資金で賄うだけでなく、会場となるニューヨーク市には、大会開催の3週間で、12億ドル（約1,700億円）以上の経済効果を引き続きもたらすものです。主な改修プランとしては、

- ・コートサイドに近い観戦席にオープンスペースを拡

NATIONAL

Reimagined Arthur Ashe Stadium headlines historic US Open transformation

May 19, 2025

The greatest stage in tennis is set for a grand makeover.

With the largest single investment in US Open history, the USTA will reimagine and modernize Arthur Ashe Stadium, create a new, state-of-the-art Player Performance Center and usher in a bold, visionary future for fans, players and partners.

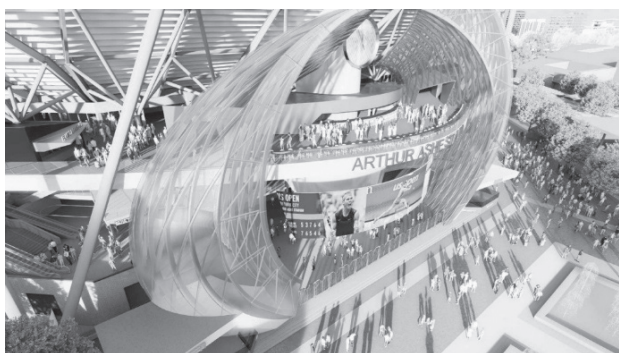
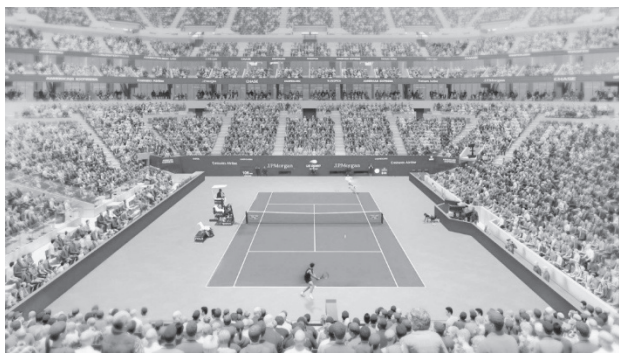
The project, announced Monday, is an \$800 million investment in the US Open and the USTA Billie Jean King National Tennis Center that is entirely self-funded by the USTA, with New York City continuing to benefit from more than \$1.2 billion in annual economic impact due to the three weeks of the US Open.

Combined with the US Open's most recent transformation project, completed in 2018, the USTA has invested nearly \$2 billion into the US Open and its home facility, without using any public, taxpayer or government funding.

The transformation will take shape over three phases and be completed by the 2027 US Open, without interrupting play or fan access for the 2025-26 events.



Artist rendering of the reimagined Arthur Ashe Stadium and USTA Billie Jean King National Tennis Center grounds.



張し、観客がゆったりとゲームを楽しめるようになる

- ・物販店、飲食店を充実させる
- ・化粧室数を大幅に増加する
- ・バリアフリー化を徹底する
- ・コートサイド席を約 70% 増加させる
- ・富裕層向けの個室観戦席などを増設する

といった観客向けのサービス向上を計画しています。一方、毎年 2,800 人近くが集まることになる、選手とそのチームメンバーに対するホスピタリティも大幅に改善されます。こちらは、

- ・芝生、トラック、練習コートを拡大し、フィットネス施設とウォームアップエリアを新設・拡張する
- ・ロッカールームを拡張し、リラクゼーションの為のスパを設置する
- ・プレーヤー専用のダイニング施設を拡充、増設する
- ・ゲームに向けて、最高の舞台演出を実現する「プレーヤーエントランス」を新装する

などが予定されています。

この工事は本年夏の全米オープンから 27 年夏までの 3 年間、プレーやファンのアクセスには一切支障のない状態で進められます。

3. 「新ローマ教皇がヤニック・シナー選手と面会」

2025 年 5 月 14 日、ヤニック・シナー選手は、新ローマ教皇レオ 14 世を訪問し、ラケットを贈呈しました。またシナーは教皇に「自分のイタリアオープンの休養日に、（一緒に）プレーをしませんか」と誘いかけました。アメリカ人初の教皇となったレオ 14 世は、自身が熱心なテニスファンでありプレーヤーであることから、これを歓迎しながらも、「しかし貴方（シナー）の名字が、宗教上の『罪人』と同じため、難しいかな」とジョークで答えたとのこと。会談が行われたバチカンの応接室で、シナーは教皇にラケットを手渡しながら「ここで軽くボレーボレーをやりましょうか」とも問いかけたところ、教皇は「この部屋には数多のアンティークがあり厄介ですよ」と断りながらも、「でも私のこの（純白の）装束は、ウィンブルドン出場にふさわしいでしょう」と軽妙に答えていました。同席したイタリア・テニス・パデル連盟のビナーギ会長から、教皇には連盟の名誉カードが贈呈され、シナーは「新教皇がテニスを好んでいることは、私達テニスプレーヤーにとってとても有難いことだ」と語りました。

TENNIS INDUSTRY UNITED

Founding Partners



Supporting Partners

GLTA WORLD TOUR | NATIONAL CLUB ASSOCIATION | CLUB MANAGEMENT ASSOCIATION OF AMERICA
WTCA | PHIT AMERICA | AMERICAN SPORTS BUILDERS ASSOCIATION



猛暑の水分補給法

東戸塚松原テニススクール スジガネ君と代筆の松原 雄二

梅雨の季節になって、じめじめとしてきた。梅雨が明けると暑い夏。夏の勝負に勝てるかどうかは汗をしっかりとかけられるかどうかにかかっている。汗がしっかりとかければ、その蒸発により体温が一定に保たれ、身体のパフォーマンスが保たれる。だから、早く夏の暑さに慣れて、汗をかく夏の体質になっておくことがまずは必要。具体的に言うと、エアコンを離れ、暑い時間に外でテニスをしろということ。次に必要なのが水分補給。汗を大量にかくわけだから、その分を補充できるかどうかは勝負。汗の消費量を補える以上の水分を安定して飲めれば、永久に身体は持つはず。そしてもう一つは早めに飲み始めること。のどが渇くまで我慢すると、必要な水分量が不足し、気が付いた時には身体のパフォーマンスが落ちてしまう。その後で飲み始めるのでは、必要な量も多くなり身体に無理がかかる。だからプロは試合前から飲むし、ウォームアップの合間にも飲む。

さて、テニスプレー中の水分補給、一般的な話として次のような知識がある。まず、何を飲んだらいいのかというと、市販のものに比べ2倍くらいに薄めたスポーツドリンクがいいのだそうだ。水だけだと吸収がよくないし、電解質の補給も足りない。市販のスポーツドリンクは甘くておいしいのだが、濃すぎて運動中に飲むためには、特に糖分が多すぎる。プレーヤーは夏場のシングルの試合などでは、試合中に2リットルくらい飲むことは普通だから、通常の生活に比べるとかなりの量を飲まなければならない。私の経験では、水をたくさん飲むとおなかガタポタポして、最後はおなかを壊してしまう。スポーツドリンクの場合、最初は快適なのだが大量に飲むと気持ちが悪くなる。だから、2倍に薄めたスポーツドリンクがちょうどいいのだ。この知識を得て、早速やってみたが一つ問題が生じた。これ、とってもまずい、試合に気力が出ない、こんなもん飲みたくない。

さて、プロはどうしているだろう？2種類のボトルを飲み分けているのを見たことがないだろうか。あのオレンジ色のドリンクおいしそう。水もすっきりでおいし



い。えっ、もしかしたらおなかの中で2倍に薄めたスポーツドリンクになっている。こんな簡単なこと、なんで気が付かなかったのか。売っているのをそのまま使ってもいいわけで、ほとんど特別なノウハウも必要ない。さっそく実行してみると、おいしいし、たくさん飲めるし、気力も充実。一挙に課題克服となった。技術もそうだが、こうゆうところもプロの真似をするのが一番良いようだ。

ところでもう一つ、大事な話がある。それは飲み物の温度の話。ジュニアの試合では保冷したジャグに水とスポーツドリンクを入れてコートに入る子をよく見かける。これは冷たすぎないだろうか。確かにとてもおいしいし、冷たさが気持ちいいのだが、それを大量に飲んでも大丈夫なのだろうか。最近、大人では保冷バッグやクーラーボックスにペットボトルを入れてベンチ横に置く人をよく見かける。車で移動する大人は大丈夫でも、電車移動などだと大きなクーラーボックスは難しいかもしれないが、コンパクトな保冷バックなどを使えば解決できるのではないだろうか。水とスポーツドリンクを保冷バックに。これを飲み続けて猛暑の夏を乗り切るのだ。

2025年6月1日に施行された 「熱中症対策義務化」について

ここ数年の猛暑の影響で、熱中症による労働災害が社会問題となっています。2024年における職場での熱中症発生件数（死亡・休業4日以上）は、1,257人（うち死者31人）であり、深刻な状況であることが伺えます。

こうした状況を受けて、厚生労働省は労働安全衛生規則を改正し、2025年6月1日より、一定の条件を満たす作業等について、熱中症対策を義務化しました。テニス事業のように屋外での指導やトレーニングを日常的に行う現場では、今回の法改正が直接影響する可能性が高いと言えます。本稿では、現時点で事業者がとるべきとされている対応について整理します。

事業者が講じるべき対策とは？

今回の制度改正により、以下の2つの条件を満たす作業については、熱中症対策が義務化されます。

- 作業場所のWBGT値が28℃以上または気温31℃以上であること
- 同環境下で、連続1時間以上、又は1日あたり4時間を超えて行われることが見込まれる作業があること

※ WBGT：気温に加え、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数

【事業者に義務付けられる現場における対応】

熱中症の重篤化を防ぐために、熱中症のおそれがある労働者を早期に発見し、状況に応じて迅速かつ適切に対処することが求められます。そのため、以下の3点について、事前に準備・実施することが義務付けられます。



①体制の整備

熱中症による死亡災害の原因の多くは、初期症状の放置や対応の遅れにあります。このため、熱中症の重症化を防止することを目的として、「熱中症の自覚症状を有する作業員」や「熱中症が生じた疑いのある作業員を発見した者」が、速やかにその旨を報告できるように、事業場ごとにあらかじめ報告体制を整備しておく必要があります。

②対応手順の作成

熱中症の症状が疑われる場合に講じるべき措置の内容およびその手順を、あらかじめ文書としてまとめておく必要があります。この中には、以下のような情報を含めておくことが求められます。

- 事業場内の緊急連絡網
- 緊急搬送先（医療機関など）の連絡先・所在地
- 必要な措置の内容及び手順等の流れ

③関係者への周知

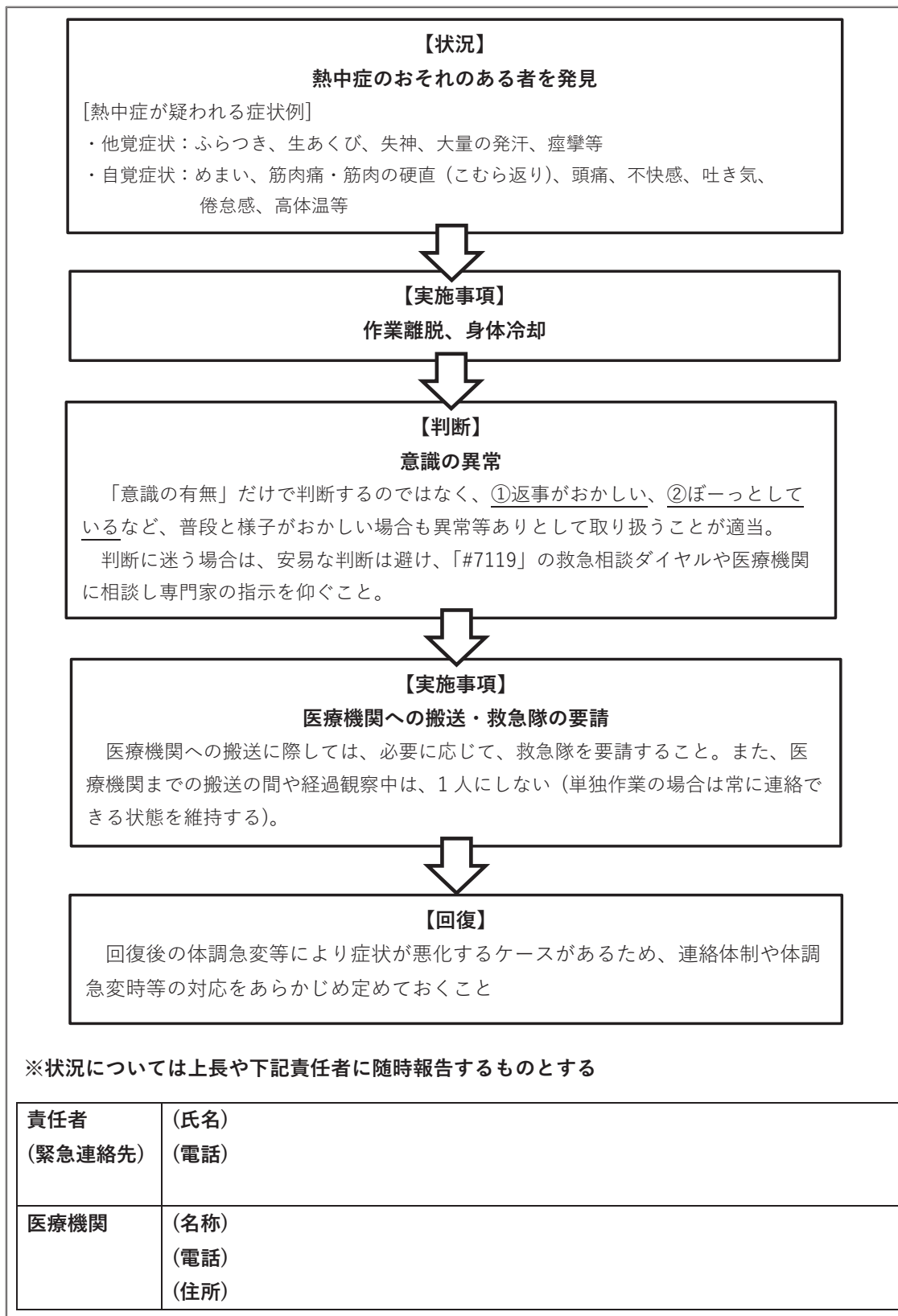
整備した体制や手順については、関係する作業員全員に周知することが必要です。

周知方法としては、以下のような手段が推奨されています。

- 事業場の見やすい箇所への掲示
- メール送信や文書の配布
- 朝礼やミーティング時の口頭伝達



手順書の作成例



◆日常的な熱中症予防の観点から

また、熱中症の発症を未然に防ぐためには、WBGT 値の活用等による現場での取り組みだけでなく、日常的な健康管理も重要とされています。例えば健康診断の結果に基づいて、暑熱環境下での業務に影響を及ぼす可能性のある所見が見られた場合には、業務内容やシフト上の配慮など、適宜柔軟な対応を行うこと等が望まれます。

また、睡眠不足や体調不良、前日の飲酒、朝食の未摂取なども発症リスクを高める要因であることから、日常生活への注意喚起や、体調に不安がある従業員への健康相談を行うことも推奨されています。

今回の改正に対応せず、必要な体制整備を怠った場合には、労働安全衛生法に基づき「**6 か月以下の拘禁または 50 万円以下の罰金**」が科される可能性があります。

ただし、罰則の有無にかかわらず、スタッフや利用者の安心・安全を第一に考えた環境づくりが何よりも大切であることには変わりはありません。身体の冷却や作業離脱といった緊急時の対応に加え、休憩場所の確保や暑熱環境への配慮など、平時から取り組めることも多くあります。無理のない範囲で、できることから着実に進めていくことが重要と言えるでしょう。

- 職場における熱中症予防情報については、厚生労働省のホームページもご参照ください。

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

■ご相談は

社会保険労務士法人プロジェスト

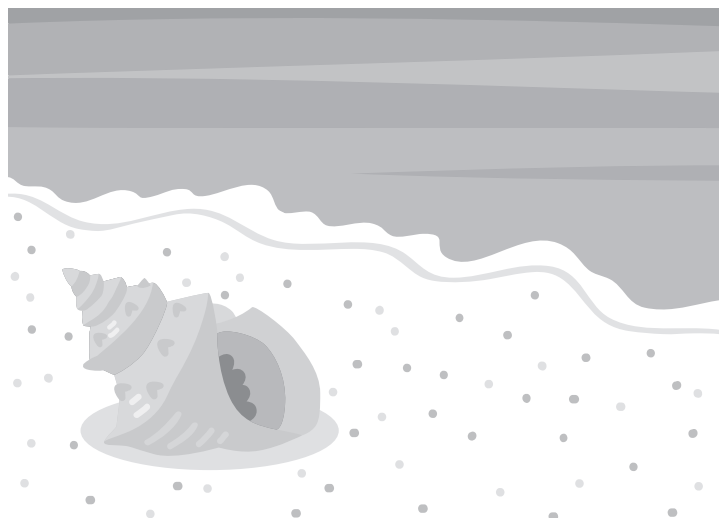
(担当：福井 / 金子)

TEL：03-6439-5585 FAX：03-6439-5580

E-mail：kfukui@proggest-sharou.or.jp/

mkaneko@proggest-sharou.or.jp

私たちは、テニススクール事業主様を含めた数多くの一般事業主様からご依頼を受け、各種規程や賃金の見直し、助成金申請のサポート等を行っておりますので、お気軽にご相談ください。



■令和7年地価公示にみる地価の状況

「令和7年地価公示」が、令和7年3月19日に公表されました。

令和7年地価公示では、全国全用途平均・住宅地・商業地のいずれも4年連続で上昇し、上昇率が拡大

しました。全国の地価は、景気が緩やかに回復している中、地域や用途により差があるものの、三大都市圏では上昇幅が拡大し、地方圏でも上昇傾向が継続するなど、全体として上昇基調が続いています。

圏域別・用途別対前年平均変動率

(単位：％)

用途別	住 宅 地		商 業 地		工 業 地	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
東京圏	3.4	4.2	5.6	8.2	6.2	7.1
大阪圏	1.5	2.1	5.1	6.7	6.1	7.3
名古屋圏	2.8	2.3	4.3	3.8	4.1	3.9
三大都市圏平均	2.8	3.3	5.2	7.1	5.8	6.5
地方圏平均	1.2	1.0	1.5	1.6	2.6	3.2
全国平均	2.0	2.1	3.1	3.9	4.2	4.8

国土交通省「地価公示 圏域別・用途別対前年平均変動率」をもとに作成

【住宅地】

- 低金利環境の継続などにより、引き続き住宅需要は堅調であり、地価上昇が継続しています。特に東京圏や大阪圏の中心部などにおいて高い上昇を示しています。
- 交通利便性や生活利便性に優れ、転入者が多い地域では、堅調な住宅需要に支えられ、比較的高い上昇が継続しています。

【商業地】

- 主要都市では、店舗・ホテルなどの需要が堅調であり、オフィスについても空室率の低下傾向や賃料上昇傾向によって収益性が向上していることから、地価上昇が継続しています。
- 外国人を含めた観光客が増加した観光地では、引

き続き高い上昇を示しています。

- 再開発事業等が進展している地域では、利便性や賑わいの工場への期待感などから、地価上昇が継続しています。

【その他】

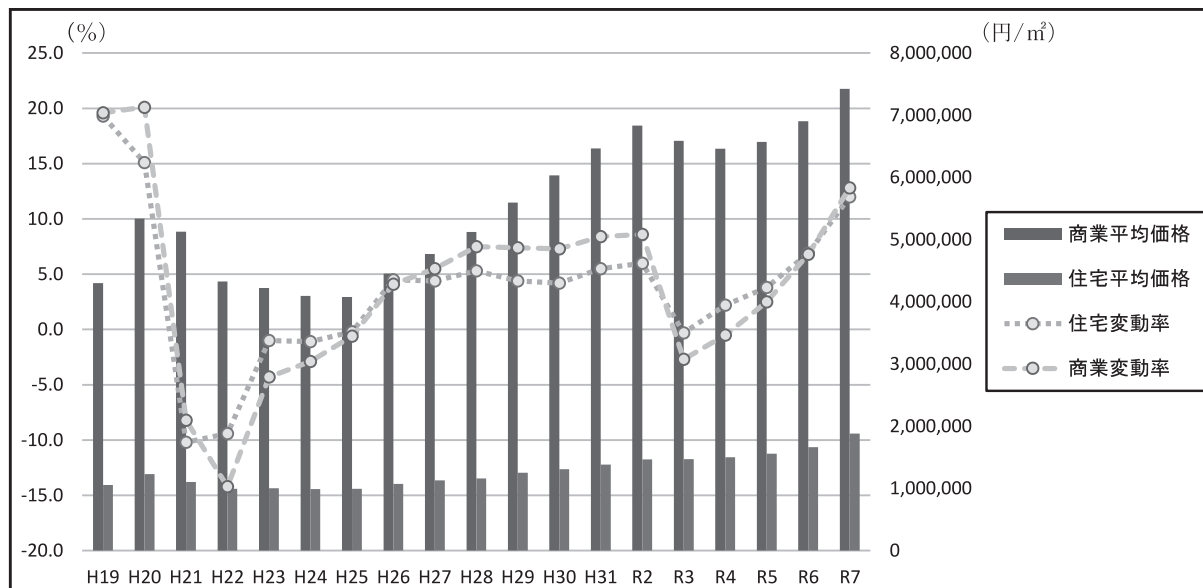
- 大手半導体メーカーの工場が進出している地域では、関連企業も含めた従業員向けの住宅用地等の需要のほか、関連企業の事務所用地や事務所・ホテル・店舗等の需要も旺盛となっており、引き続き住宅地、商業地、工場地共に高い上昇となっています。
- 令和6年能登半島地震などにより、大きな被害を受けた地域では、地価が大きく下落しています。

【東京都・埼玉県・千葉県各市区の公示価格推移】

エリア	住居表示または地番	区分	令和6年 (円/㎡)	令和7年		前年比
				(円/㎡)	(円/坪)	
港区	三田4-7-27	商業地	2,360,000	2,650,000	8,760,331	12.29%
新宿区	西新宿2-6-1	商業地	13,000,000	13,500,000	44,628,099	3.85%
渋谷区	恵比寿1-11-2	商業地	4,600,000	5,540,000	18,314,050	20.43%
中央区	銀座6-8-3	商業地	29,300,000	30,800,000	101,818,182	5.12%
大田区	東雪谷5-3-18	住宅地	516,000	552,000	1,824,793	6.98%
大田区	南六郷2-8-12	住宅地	435,000	468,000	1,547,107	7.59%
大田区	羽田3-3-13	商業地	538,000	574,000	1,897,521	6.69%
目黒区	上目黒3-4-3	商業地	4,600,000	5,200,000	17,190,083	13.04%
世田谷区	砧4-26-3	住宅地	618,000	664,000	2,195,041	7.44%
品川区	北品川1-24-4	商業地	980,000	1,120,000	3,702,479	14.29%
台東区	西浅草2-13-10	商業地	2,050,000	2,580,000	8,528,926	25.85%
葛飾区	亀有2-18-7	住宅地	367,000	388,000	1,282,645	5.72%
足立区	西綾瀬3-15-9	住宅地	358,000	380,000	1,256,198	6.15%
八潮市	八潮4-23-6	住宅地	173,000	181,000	598,347	4.62%
三郷市	谷口根通421-3	住宅地	149,000	153,000	505,785	2.68%
吉川市	平沼1-6-2	住宅地	128,000	129,000	426,446	0.78%
松戸市	横須賀1-21-3	住宅地	173,000	186,000	614,876	7.51%

国土交通省「地価公示 標準地・基準地検索システム」をもとに作成

●平均公示価格・変動率推移（都心5区）



国土交通省「地価公示 変動率及び平均価格の時系列推移表」をもとに作成

掲載内容に関しては、本資料作成日時点における情報に基づくものであり、掲載内容に変更、訂正、または修正があった場合でも、当社が本資料を変更、訂正、又は修正を行うものではありません。

担当：株式会社青山財産ネットワークス
コンサルティング第二事業本部 山崎陽介
2級FP技能士 宅地建物取引士
TEL：03-6439-5803 FAX：03-6439-5813

アインシュタインの授業

相対性理論で有名な物理学者アインシュタインは、自らの勤務する大学の授業中、おもむろに黒板に計算式を書き始めた。

$9 \times 1 = 9$ 、 $9 \times 2 = 18$ 、 $9 \times 3 = 27$ 、・・・、 $9 \times 9 = 81$ 、そして最後にこう書いた。

$9 \times 10 = 91$

するとそれまで静かだった教室はざわつき始め、「先生それ違いますよ!」と口々に学生たちが指摘したり、笑ったり、非難したり、大騒ぎになった。

教室が静まるのを待って、アインシュタインはこう言った。

「9つの問題を正しく解いたのに誰も私を褒めなかった。それなのにたった1つ間違えただけで、皆さんは笑い始めた。間違いというのはプロセスの一部なのに、社会では成功よりもほんの小さな間違いを指摘される。」

「決して間違いをしない唯一の人は誰だと思えますか?」と学生に問いかけてから、少し間をおいて、こう言った。

「それは何もしない人だ。」

数年前にネットサーフィンしていてこの話に出会い、「ええ話やん!いつか使えるかもしれへん!」って関西人になってスマホにメモしておいた。

最近になってそのメモを見つけて、「これはレポートのフックに使えるでござす、ばってんたい!」って熊本?あたりの人になって書き始めたでござす、ばってんたい!

この話によると、人には2通りのタイプがいるのが分かる。

- ①ミス为非難されるのが怖いから、何もしない人
- ②行動するのが好きだから、非難を覚悟で動く人

「日本で一番大切にしたい会社」の著者である「人を大切にする経営学会」の会長で経営学者の坂本光司氏は、「経営者のノート」という著書にこう書いている。

「人材」とは、交代要員がいくらでもいるような人。「指示待ち型人材」「依存型人材」「変化を嫌う硬直型人材」→時代はこうしたタイプの人材を全く求めている。

「人財」は、余人をもって代えがたいような人。「提案型人財」「自立型人財」「創造型人財」「変化を好むフレキシブル人財」→時代はこのタイプの人財を強く求めている。

さらに、「人材」が組織やリーダーに強く求めるのは「管理」や「指示命令」であるが、「人財」は全く逆で「管理」や「指示命令」を最も嫌い、強要するとモチベーションを下げってしまうって書いてあった。

人をいくつかのタイプに分けるものとして、血液型、星座、干支、偏差値、動物占い、左脳派と右脳派、ストレングスファインダー、エニアグラム、などがあったが、私にはどれも理解は出来ても腹落ちはしていなかった。

でも、この「人材」と「人財」は現場でも役立つそう、そんな気がして、テニススクールの現場で、この「人材」と「人財」を意識してみた。

コーチ手配が遅いことで、いつもトラブルが絶えない事業所があった。

このヘッドコーチは「人材」タイプだったので、意図的に「人財」タイプのヘッドコーチに変えてみた。すると課題だったコーチ手配がスムーズになった。その結果、チームの雰囲気良くなっていったのである。

また、坂本氏は人材を人財に変える方法として、『「管理」と『指示命令』を極力しないことだ』って言っている。

これも、あるチームで試してみた。意図的に「最低限の管理」にしてみたのである。

その結果、採用したパートさんの半数近くはすぐ辞めた。

「こんないい加減な会社にはいられません!」って面と向かって怒鳴られたりもした。

しかし残ったパートさんは全員、放っておいても分からないことは自分から勝手に答えの分かる人に聞きに行って解決する「人財」タイプの人だった。

私のやり方が悪かったのかもしれないが、残念ながら「人材」は「最低限の管理」では「人財」には変わらなかった。「人材」が去り「人財」だけ残った。

「でら思い通りにはならんだぎゃー、ま、これはこれでよかやんね!」って名古屋人になって自分に言い聞かせたところで、今回は失礼させていただきます!

JTIA賛助会員のご紹介

■特別賛助会員（50 音順）

株式会社青山財産ネットワークス	個人財産・法人財務・不動産ソリューション等コンサルティング
〒 107-0052 東京都港区赤坂 8-4-14 青山タワープレイス 3F	Tel. 03-6439-5803 担当 山崎 陽介
Gift Your Life 株式会社	生命保険・損害保険の販売、証券仲介業、不動産仲介業
〒 104-0061 東京都中央区銀座 3-13-19 東銀座 313 ビル 6F	Tel. 03-6264-4731 担当 細田 俊行
スポーツサーフェス株式会社	テニスコート設計・施工
〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-2-10 坂田ビル 5 階	Tel. 03-6202-0757 担当 片岡 友洋
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	通信事業、ソリューションサービス事業（スマートテニスレッスン等）他
〒 108-0075 東京都港区港南 1-7-1	Tel. 03-6714-8700 担当 成田 治樹
ダイドードリンコ株式会社	清涼飲料水等製造及び販売
〒 108-0023 東京都港区芝浦 4-2-8 住友不動産三田ファーストビル 12F	Tel. 03-5730-1213 担当 大石 実咲
タロスカイ株式会社	WordPress のホスティング、運用保守等、Web メディア運営サポート業務
〒 162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 3-4-2 市ヶ谷グリーンプラザ 401	Tel. 03-5839-2760 担当 井上 桂子
株式会社ダンロップスポーツマーケティング	スポーツ用品メーカー
〒 108-0075 東京都港区港南 1-6-41 品川クリスタルスクエア 7F	Tel. 03-5539-8978 担当 西村 健
長永スポーツ工業株式会社	スポーツ施設の企画・設計・施工
〒 157-0073 東京都世田谷区砧 1-13-4	Tel. 03-3417-8111 担当 鬼頭 芳弘
テニスサポートセンター	オリジナルテニス商品・テニス用品販売、中古ラケット買取・販売
〒 181-0003 東京都三鷹市北野 4-1-25	Tel. 03-5314-3734 担当 中山 和義
株式会社日本トリム	電解水素水整水器の販売
〒 530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-2-22 ハービス ENT オフィスタワー 22F	Tel. 06-6456-4630 担当 高橋 潤
株式会社ネステイ	テニスクラブ・スクール運用ソフト開発・販売等
〒 141-0022 東京都品川区東五反田 1-9-4 五反田宏陽ビル 7F・8F	Tel. 03-3473-5168 担当 吉田 浩道
株式会社 hacomono	ウェルネス産業向けオールインワン基幹システム「hacomono」の開発・提供
〒 150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-17 住友不動産原宿ビル 5F	Tel. 03-6778-4949 担当 工藤佳奈江
株式会社ビーシーセンター	ASP による会員管理システム & e-ラーニングシステム等
〒 271-0052 千葉県松戸市新作 240-3 プレメンスト 401	Tel. 03-3209-6111 担当 高山 純寛
社会保険労務士法人プロジェクト	日常の労務問題等に関する相談等
〒 107-0052 東京都港区赤坂 8-4-14 青山タワープレイス 7F	Tel. 03-6439-5585 担当 福井 一弥
ヨネックス株式会社	テニス用品メーカー
〒 113-8543 東京都文京区湯島 3-23-13	Tel. 03-3839-7120 担当 三浦 貴行

◆協力賛助会員（50 音順）

株式会社ケイエムダブリュジャパン	（通信・LED 照明機器の製造・販売）
JASPAS 株式会社	クレジットカード、電子マネー決済システム、ポイントシステムの提供、ペイジー口座振替サービスの提供
ジャパンリスクマネジメント株式会社	生命保険・損害保険代理店
株式会社ダイエープロジェクト	スポーツ施設用大型テント、スポーツ施設設計・施工等、その他建築工事一式
東京ウェルネス株式会社	テニス施設・インドアコート・スポーツ施設設計・施工
東京海上日動火災保険株式会社	損害保険全般
株式会社 HOKUETSU PLANETS	PRINTING 事業・アパレル事業・ロジスティック

□賛助会員（50 音順）

株式会社アイエス	広告物印刷
アシストインターナショナル株式会社	テニスコート設計・施工、人工芝輸入・販売・施工
アメアスポーツジャパン株式会社	スポーツ用品製造・販売
株式会社伊藤園	清涼飲料の製造・販売、緑茶の製造・販売、烏龍茶及び紅茶の輸入・販売、健康食品の製造・販売
岩崎電気株式会社	照明メーカー
株式会社 AKI	建築塗装工事、リフォーム工事
株式会社小野設計	建築設計・監理
株式会社オリコビジネス&コミュニケーションズ	LED・空調機器その他
株式会社価値創造社	コンサルタント・スクール施設用設備機器（ボールマシン等）の開発・販売
鐘屋産業株式会社	スポーツネット・器具の製造・販売
株式会社キモニー	スポーツ用品・用具の製造販売及び輸出入
CREFIL 株式会社	自社サービス「spohabi」の開発・提供
グローブライト株式会社	スポーツ用品の製造ならびに販売等
株式会社ゴーセン	テニス用品製造・販売

ゴーツスポーツ株式会社	屋外スポーツ器材・備品の販売及びメンテナンス
株式会社 GNE	省エネ・省コスト事業全般
株式会社シーズコア	マーケティング業務全般、セールスプロモーション企画・実施、web マーケティング
株式会社 cielo azul	HP 制作・Web 集客コンサルティング・Web オウンドメディア運営
株式会社スポーツサンライズドットコム	スポーツイベント企画・運営、選手データベース管理
泉州敷物株式会社	人工芝生・成成品・不織布の製造・販売、スポーツサーフェスの設計・施工
総合警備保障株式会社	セキュリティ事業全般・AED の販売等
ターフサイクル株式会社	人工芝リサイクル事業
大和ハウスパーキング株式会社	コインパーキングのトータルプロデュース、スポーツ施設の企画・設計・施工等
合同会社 DMM.com	EV 充電事業、デジタルコンテンツ配信事業、オンラインゲーム事業、通信販売事業等
株式会社テニック	テニス用品専門卸販売業
株式会社トアルソン	テニス・バドミントン・スカッシュのストリング製造・販売
株式会社東旺	各種テニスコート施工・防水工事・遮熱工事
西尾レントオール株式会社	総合レンタル業：建設機械、イベント用品、通信情報機器他
株式会社 NIPPO	テニスコートの設計・施工、スポーツ施設の設計・施工
日本体育施設株式会社	各種運動場の基本計画・設計施工・請負及び監理等
株式会社 nobitel	テニス専門サイト「tennis365.net」の運営
Babolat VS Japan 株式会社	スポーツ用品、用具、シューズ及びウェアの卸売及び小売
株式会社 FIT	テニススクールに向けた省エネルギー提案・コート照明の LED 化設計・空調の入替設置他
株式会社ブラーボデザイン	フットサル施設運営、フットサル及びサッカースクール企画運営、スポーツ施設の施工・工事
HEAD Japan	スポーツ用品の輸入販売 HEAD、Tyrolia ブランド
一般社団法人ポスタルくらぶ	会員組織「ポスタルくらぶ」「ポスタルくらぶ ValuePlus」の運営全般
前田道路株式会社	スポーツ施設の設計・施工
有限会社マツオホケンサービス	保険代理業
丸菱産業株式会社	家庭用温熱導子付低周波治療器「サンマッサーホット 22BL」製造・販売
ミズノ株式会社	スポーツ用品の製造販売・卸売・販売・各種スクール事業
明治安田収納ビジネスサービス株式会社	キャッシュカード利用の口座振替受付サービスを含む預金口座振替による集金事務代行業務
株式会社ライフ・デポ	スポーツ施設設計・施工・メンテナンス・LED 照明等
株式会社ライフターゲット	海外テニス留学斡旋、ホームページの製作、テーピングテープの販売
株式会社 Life Bridge	LED 照明・空調機器の販売
株式会社ラコステジャパン	テニス・スカッシュ・パデル用品卸売業（テクニファイバー日本国内代理店）、ラコステ・エーグル衣料品の販売等
有限会社リパティヒルバケーション	旅行業
株式会社両備システムズ	会員管理システム

編集後記

皆さん、こんにちは！

今年の全仏オープンも見どころ満載の大会となりました。女子シングルスではアメリカのココ・ガウフ選手が悲願の初優勝を果たし、男子ではスペインのカルロス・アルカラス選手が2度目のタイトルを手に入れました。ともに若きチャンピオンの存在感が際立ちましたね。

日本勢も素晴らしい活躍を見せてくれました。車いすテニスでは上地結衣選手がシングルス・ダブルスの二冠を達成！昨年のパラリンピックに続く快挙でシングルス・ダブルスとも5回目の優勝。上地選手の強さを世界に印象づけました。男子シングルスでは小田凱人選手が大会3連覇を果たし、10代ながら絶対王者としての地位を固めつつあります。本当に頼もしい限りです。

また、ジュニア男子では田畑遼選手がベスト4入りと大健闘。堂々たるプレーで次世代のエース候補として注目を集めました。今後の活躍に大いに期待して応援しましょう。

これから暑さの厳しい季節となります。5月に事務局よりお知らせしましたが、改正労働安全衛生規則が施行されました。事業所全体での熱中症対策をしっかりとしつつ、元気にテニス界を盛り上げていきましょう！

JTIA News! 2025.6 Vol.103

発行：公益社団法人日本テニス事業協会

発行日：2025年6月30日

発行責任：大久保 清一

編集責任：吉田 好彦（広報委員長）

発行所：公益社団法人日本テニス事業協会

TEL.03-5577-7361

FAX.03-5577-7362

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町1丁目

10番1号 サクラビル4階

<https://jtia-tennis.com>

mails@jtia-tennis.com